画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2023/9/22	[redacted]	詳細設計	新規作成
2024/9/9	[redacted]	機能概要、詳細設計	追加機能を追記
2025/9/11	[redacted]	機能概要、詳細設計	仕切状一覧ボタン追加。ボタン配置変更

画面仕様	画面名	PCメニュー
	機能	
	画面ID	

内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
Ver		ボタン		バージョンを表示する　2025/9/11追加
発行⇒商品一覧		ボタン		発行商品一覧画面を表示します
送り状一覧		ボタン		送り状一覧画面を表示します
仕切状一覧		ボタン		仕切状一覧画面を表示します　2025/9/11追加
発行履歴確認		ボタン		発行履歴画面を表示します
設定		ボタン		設定画面をダイアログ表示します
終了		ボタン		アプリケーションを終了する

画面仕様	画面名	PCメニュー
	機能	
	画面ID	

主な機能

- 各業務メニューを表示する

基本動作

- 画面表示時
  バージョン情報を表示する（今回は2.0.0)

- ~~発行~~⇒商品一覧ボタン押下時処理
  ~~発行~~⇒商品一覧画面を表示する

- 送り状一覧ボタン押下時処理
  送り状一覧画面を表示する

- 仕切状一覧ボタン押下時処理
  仕切状一覧画面を表示する

- 発行履歴確認ボタン押下時
  発行履歴確認画面表示する

- 設定ボタン押下時処理
  設定画面をダイアログ表示する

- 終了ボタン押下時処理
  アプリケーションを終了する

詳細設計	画面名	メインメニュー
	機能	各業務画面へ遷移する。
	画面ID	

仕様

■ 画面表示時

1. 設定ファイル読込
   AppSettingから以下の情報を取得
   データベース接続情報
   商品マスタ保存先

2. データベース接続
   設定ファイルから取得した情報でデータベースへ接続する
   ⇒接続できない場合はエラーメッセージを表示してアプリケーションを終了する
   エラーメッセージ：DB接続に失敗しました。アプリケーションを終了します。

3. バージョンの表示
   アセンブリ情報からバージョンを表示(フォーマット：0.0.0)　今回は3.0.0　2025/9/11追加

■ ~~発行~~⇒商品一覧ボタン押下時
~~発行~~⇒商品一覧画面へ遷移する

■ 送り状一覧ボタン押下時
送り状一覧画面へ遷移する

■ 仕切状一覧ボタン押下時　2025/9/11追加
仕切状一覧画面へ遷移する　2025/9/11追加

■ 発行履歴確認ボタン押下時
発行履歴確認画面へ遷移する

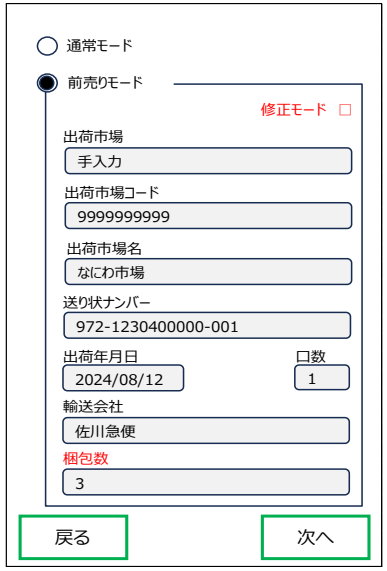
■ 設定ボタン押下時
設定画面をダイアログ表示する

■ 終了ボタン押下時
アプリケーションを終了する

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2023/9/22	[redacted]	詳細設計	新規作成
2024/10/9	[redacted]	詳細設計	明細タイトル行クリック時の動作を追加
2024/10/18	[redacted]	機能概要	モード選択画面に項目追加
2024/10/18	[redacted]	詳細設計	項目追加に伴う修正
2024/10/21	[redacted]	詳細設計	追加、変更、削除機能において、キー項目として入数を追加
2024/10/25	[redacted]	機能概要	画面から口数項目を削除
2024/10/29	[redacted]	機能概要	画面から口数項目を追加　↑の取消
2024/11/26	[redacted]	詳細設計	削除時、確認メッセージは２回出力するようにする
2025/9/25	[redacted]	機能概要、詳細設計	検索条件に「等階級」「入数」を追加。オートコンプリート機能追加。品種名絞り込み仕様追加

画面仕様	画面名	商品一覧
	機能	
	画面ID	



内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
検索条件エリア				
生産者		コンボボックス		取り込んだ商品マスタの生産者名を集約して表示
選択中		チェックボックス	未チェック	
品名		コンボボックス＋入力		取り込んだ商品マスタの品名を集約して表示
品種名		コンボボックス＋入力		取り込んだ商品マスタの品種名を集約して表示
等階級	8	テキストボックス		2025/9/25追加
入数	3	テキストボックス		2025/9/25追加
グループ名		コンボボックス		取り込んだ商品マスタのグループ名（予備01）を集約して表示
検索		ボタン		検索条件に指定された内容でマスタデータを参照し、一致する内容を一覧表示する
クリア		ボタン		検索条件をクリアする
選択件数		ラベル		選択件数を表示
検索結果件数		ラベル		表示件数を表示
検索結果一覧				
選択		チェックボックス		
生産者		ラベル		
品名		ラベル		
品種名		ラベル		
等階級		ラベル		

画面仕様	画面名	商品一覧
	機能	
	画面ID	

入数		ラベル		
発行枚数		テキスト		
注文区分		テキスト		
備考		テキスト		
グループ名		ラベル		
予備２		ラベル		
予備３		ラベル		
予備４		ラベル		
予備５		ラベル		
予備６		ラベル		
予備７		ラベル		
予備８		ラベル		
予備９		ラベル		
予備１０		ラベル		
全選択・全解除		ボタン		全ての行を選択状態または未選択状態にする（Captionが変更される）
ラベル発行		ボタン		選択した品名のラベルを発行枚数分発行する
マスタ出力		ボタン		
マスタ取込		ボタン		
追加		ボタン		
変更		ボタン		
削除		ボタン		
送り状作成		ボタン		
戻る		ボタン		

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
モード選択ダイアログ				
通常モード		ラジオボタン	チェック済	
前売りモード		ラジオボタン		
修正モード		チェックボックス		ラベル発行なし、送り状データのみ作成する場合は、チェックする　2024/10/18追加
出荷市場		コンボボックス		前売モード=ONの場合のみ選択可。以外は非活性。 出荷市場マスタの出荷市場を表示順に表示。項目最後に「手入力」を追加。
出荷市場コード(手入力)		テキスト		出荷市場＝手入力の場合のみ入力可。以外は非活性
出荷市場名(手入力)		テキスト		出荷市場＝手入力の場合のみ入力可。以外は非活性
送り状ナンバー		テキスト		前売モード=ONの場合のみ入力可。以外は非活性
出荷年月日		テキスト		前売モード=ONの場合のみ入力可。以外は非活性
口数		テキスト		前売モード=ONの場合のみ入力可。以外は非活性　2024/10/28変更
輸送会社		テキスト		前売モード=ONの場合のみ入力可。以外は非活性
輸送手段　⇒　梱包数		テキスト		前売モード=ONの場合のみ入力可。以外は非活性
戻る		ボタン		
次へ		ボタン		

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
追加・変更・削除ダイアログ				

画面仕様	画面名	商品一覧
	機能	
	画面ID	

	生産者	60	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：ラベル：削除の場合：ラベル
	品名	60	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：ラベル：削除の場合：ラベル
	品種名	60	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：ラベル：削除の場合：ラベル
	等階級	30'	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：ラベル：削除の場合：ラベル
	入数	10	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	グループ名	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備02	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備03	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備04	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備05	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備06	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備07	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備08	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備09	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	予備10	30	テキスト or ラベル		追加の場合：テキスト、変更の場合：テキスト：削除の場合：ラベル
	戻る		ボタン		
	登録・変更・削除		ボタン		追加ボタン押下時：登録、変更ボタン押下時：変更、削除ボタン押下時：削除

主な機能

- 商品マスタを取込、データ化(テーブル)する
- ラベル情報（発行枚数、注文区分、備考）を入力し、ラベルを発行する
- 商品マスタの追加、変更、削除を行う
- 商品マスタのCSV出力を行う

基本動作

●画面初期表示時

検索条件項目をクリア、明細をクリア

商品マスタを取り込み、一覧表示する

発行枚数、注文区分、備考はブランク

●検索ボタン押下時

検索条件に指定された内容で商品マスタを参照し、一致する内容を一覧表示する

検索条件が全て未登録だった場合、メッセージを表示する　「検索条件を入力してください」

表示順：グループ名(降順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(等階級順)

●ラベル発行ボタン押下時

・明細行が１件もチェックされていない場合　「行選択されていません」

・明細行がチェックされている、発行枚数が未入力の場合　「発行枚数が未入力です」

上記以外の場合、発行モードを選択ダイアログを表示する

画面仕様	画面名	商品一覧
	機能	
	画面ID	

●マスタ出力ボタン押下時

商品マスタに登録されているデータをCSV出力する

●マスタ取込ボタン押下時

選択された商品マスタCSVを商品テーブルへ取り込む

●追加ボタン押下時

商品マスタ追加ダイアログを表示する

●変更ボタン押下時

商品マスタ変更ダイアログを表示する

●削除ボタン押下時

商品マスタ削除ダイアログを表示する

●戻るボタン押下時

入力項目が未入力でない場合

⇒「入力内容がクリアされます。よろしいですか？」

はい選択時

⇒ 発行画面を閉じる

いいえ選択

⇒ ダイアログを閉じる

入力項目が未入力の場合

⇒ 発行画面を閉じる

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. 以下の項目をクリアする
   - 検索項目.生産者
   - 検索項目.品名
   - 検索項目.品種名
   - 検索項目.選択中（未チェック）
   - 検索項目.グループ名

2. ドロップダウンリストの生成

2-1　商品マスタを生産者名で集約し、生産者のドロップダウンリストの選択肢を生成する　※1行目に空白行(未選択）を含むこと

参照テーブル	商品マスタ
集計条件	生産者
ソート	更新日(降順)

2-2　商品マスタを品名で集約し、品名のドロップダウンリストの選択肢を生成する　※1行目に空白行(未選択）を含むこと

参照テーブル	商品マスタ
集計条件	品名
ソート	更新日(降順)

2-3　商品マスタを品種名で集約し、品種名のドロップダウンリストの選択肢を生成する　※1行目に空白行(未選択）を含むこと

参照テーブル	商品マスタ
集計条件	品種名
ソート	更新日(降順)

2-4　商品マスタをグループ名で集約し、グループ名のドロップダウンリストの選択肢を生成する　※1行目に空白行(未選択）、2行目に未入力(未入力)を含むこと

参照テーブル	商品マスタ
集計条件	グループ名
ソート	更新日(降順)

2-5　上記DBエラーが発生した場合

メッセージを表示する　「データベースに接続できません」

■ 品名入力時（検索条件）　2025/9/11追加

オートコンプリートを実装し、入力された文字に一致する候補を絞り込む　2025/9/11追加

■ 品種名入力時（検索条件）　2025/9/11追加

オートコンプリートを実装し、入力された文字に一致する候補を絞り込む　2025/9/11追加

■ 品名選択時（検索条件）　2025/9/25追加

品名に紐づく品種(ドロップダウン)を絞り込む。商品マスタを品名で検索し、一致する品種名で品種名ドロップダウンを再作成する　2025/9/25追加

参照テーブル	商品マスタ		2025/9/25追加
抽出条件	品名	＝　品名ドロップダウン.品名	2025/9/25追加
集計条件	品種名		2025/9/25追加
ソート	-		2025/9/25追加

⇒取得した(取得できなくても)内容を品種名ドロップダウンにセットする（1行目は空白行）　2025/9/25追加

■ 検索ボタン押下時

1. 検索条件チェック

1-1　未入力チェック

全ての検索条件が未入力の場合は、メッセージを表示する　「検索条件を入力してください」

1-2　選択中チェック

選択中ON時の検索は、現在明細に表示されているデータの中で選択チェックが入っているものに絞って表示する(他の検索条件より最優先で検索する

2. 検索条件に従い、マスタ情報を絞り込んで表示する

参照テーブル	商品マスタ				
抽出条件	生産者	＝	画面.生産者	※指定がある場合のみ	
	品名	＝	画面.品名	※指定がある場合のみ	
	品種名	＝	画面.品種名	※指定がある場合のみ	
	グループ名	＝	画面.グループ名	※指定がある場合のみ。未入力の指定がある場合、グループ名の入力がないものが検索対象になる。	
	等階級	LIKE	画面.等階級	※指定がある場合のみ（前方一致検索）	2025/9/25追加
	入数	LIKE	画面.入数	※指定がある場合のみ（前方一致検索）	2025/9/25追加
ソート	グループ名(降順)、生産者(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)、入数(昇順)　※グループ名に値が入っている場合は、上位に表示する				

⇒一致するデータが存在しない場合は、メッセージを表示する　「検索条件に一致するデータが存在しません」

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

⇒一致するデータが存在する場合は、以下の項目転送仕様に従い、画面表示する

<明細>

選択	←	未チェック
生産者	←	商品マスタ.生産者
品名	←	商品マスタ.品名
品種名	←	商品マスタ.品種名
等階級	←	商品マスタ.等階級
入数	←	商品マスタ.入数
発行枚数	←	空文字
注文区分	←	空文字
備考	←	空文字
グループ名	←	商品マスタ.グループ名
予備2	←	商品マスタ.予備02
予備3	←	商品マスタ.予備03
予備4	←	商品マスタ.予備04
予備5	←	商品マスタ.予備05
予備6	←	商品マスタ.予備06
予備7	←	商品マスタ.予備07
予備8	←	商品マスタ.予備08
予備9	←	商品マスタ.予備09
予備10	←	商品マスタ.予備10

※検索条件はクリアしない

■ クリアボタン押下時

1. 以下の項目をクリアする
   - 検索項目.生産者
   - 検索項目.品目
   - 検索項目.品種名
   - 検索項目.グループ名
   - 検索項目.選択中（未チェック）
   - 画面明細クリア

■ 明細タイトルクリック時　2024/10/9追加

1. 現在のソートモードを取得　2024/10/9追加

   現在のソートモードを取得する（昇順 or 降順）　2024/10/9追加

2. ソートを設定する　2024/10/9追加

   ・1.で取得したモード=昇順の場合は、降順で並べ替えて明細表に反映する　2024/10/9追加

   ・1.で取得したモード=降順の場合は、昇順で並べ替えて明細表に反映する　2024/10/9追加

   ・1.でモードが取得できない場合は、昇順で並べ替えて明細表に反映する　2024/10/9追加

■ 全選択ボタン押下時

1. 全ての行を選択状態にする

2. ボタン名を「全選択」から「全削除」へ変更する

■ 全解除ボタン押下時

1. 全ての行を未選択状態にする

2. ボタン名を「全削除」から「全選択」へ変更する

■ マスタ出力ボタン押下時

商品マスタの内容を、CSV出力する

1. 確認メッセージの表示

   確認メッセージを出力する　「商品マスタをCSV出力します。

   ⇒いいえの場合、メッセージダイアログを閉じる　よろしいですか？」

   ⇒はいの場合、以下の処理を継続する

2. 商品マスタの取得。以下のSQLを実行してCSV出力するデータを取得する

参照テーブル	商品マスタ
抽出条件	なし

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

ソート	グループ名(降順)、生産者(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)、入数(昇順)

⇒一致するデータが存在しない場合は、メッセージを出力する　「商品マスタが登録されていません」

⇒一致するデータが存在する場合は、以下処理を継続する

2-1　名前をつけて保存 ダイアログボックスの表示
名前をつけて保存ダイアログを表示する
ファイル名：任意
ファイルの種類：.csv

保存ボタン押下で、フォイル保存PATHとファイル名を取得する

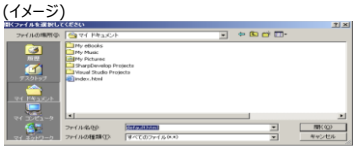
2-2　CSVデータ出力
CSVファイルの詳細内容は、「【ファイル仕様書】商品マスタCSV(マスタ出力ボタン押下時).xlsx」を参照
以下の出力仕様に従い、CSV出力する

生産者	←	商品マスタ.生産者
品名	←	商品マスタ.品名
品種名	←	商品マスタ.品種名
等階級	←	商品マスタ.等階級
入数	←	商品マスタ.入数
グループ名	←	商品マスタ.グループ名
予備02	←	商品マスタ.予備02
予備03	←	商品マスタ.予備03
予備04	←	商品マスタ.予備04
予備05	←	商品マスタ.予備05
予備06	←	商品マスタ.予備06
予備07	←	商品マスタ.予備07
予備08	←	商品マスタ.予備08
予備09	←	商品マスタ.予備09
予備10	←	商品マスタ.予備10

※ファイル保存PATHとファイル名でCSVファイルを作成する

■ マスタ取込ボタン押下時
商品マスタCSVを読込、商品マスタを登録する

1. ファイル選択
ファイル選択ダイアログを表示し、取込みする商品CSVを選択させる
(イメージ)



2. 選択されたファイルを読み込む
読み込み条件
「【ファイル仕様書】商品マスタCSV(取込時)」を参照

3. CSV内容チェック
1レコードづつ処理を行いEOFまで処理を続ける(②-2まで)

②-1　項目数チェック
CSVファイルの1レコード目を取得、カンマでSplitし、配列を作成する
配列の要素数<>15　の場合、エラーメッセージを表示する　「選択されたCSVは想定される商品マスタレイアウトとは異なります。XX行目」

②-2　属性、桁数チェック
下記内容を項目毎にチェックし、内容を満たしていない項目についてはエラーメッセージを表示する

・1要素目(生産者)
属性：文字列
桁数：60文字以内　「生産者は60文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・2要素目(品名)
属性：文字列
桁数：60文字以内　「品名は60文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・3要素目(品種名)
属性：文字列
桁数：60文字以内　「品種名は60文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・4要素目(等階級)
属性：文字列

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

桁数：30文字以内　「等階級は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・5要素目(入数)
属性：数値（整数）
桁数：10桁以内　「入数は10文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・6要素目(グループ名)
属性：文字列
内容：30文字以内　「グループ名は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・7要素目(予備2)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０２は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・8要素目(予備3)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０３は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・9要素目(予備4)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０４は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・10要素目(予備5)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０５は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・11要素目(予備6)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０６は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・12要素目(予備7)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０７は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・13要素目(予備8)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０８は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・14要素目(予備9)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備０９は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

・15要素目(予備10)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「予備１０は30文字以下を入力してください。XX行目を確認してください」

②-3　その他のエラー
メッセージを表示する　「商品マスタ取込に成功しました」

4. 選択されたファイルを指定フォルダに同名でコピーする
指定フォルダ　＝　[アプリが配置されたドライブ]¥work¥bulkinsertwork
※指定フォルダが存在しない場合には、フォルダを作成する
※指定フォルダが存在する場合には、フォルダ内のファイルをすべて削除する
ファイル名　＝　選択されたファイル名と同名

5. トランザクション開始

6. 一時商品マスタ内の全レコードを削除

削除テーブル	一時商品マスタ
抽出条件	–
ソート	–

7. バルクインサートを実行
以下のオプションでBulkInsertを実行し、一時商品マスタにデータを登録する

Insertテーブル名	一時商品マスタ
ファイルパス	指定フォルダ¥選択されたファイル名
項目ターミネータ	「,」（カンマ）
読込行	2行目から

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

データファイルタイプ	char
コードページ	932
行ターミネータ	¥r¥n
エラーファイル	指定フォルダ¥選択されたファイル名-error.txt

8. 商品マスタテーブル内の全レコードを削除

削除テーブル	商品マスタ
抽出条件	–
ソート	–

9. 一時商品マスタから商品マスタを作成する

~~一時商品マスタから商品マスタを作成する~~

商品マスタ		一時商品マスタ
生産者	←	生産者
品名	←	品名
品種名	←	品種名
等階級	←	等階級
入数	←	入数
グループ名	←	グループ名
予備02	←	予備02
予備03	←	予備03
予備04	←	予備04
予備05	←	予備05
予備06	←	予備06
予備07	←	予備07
予備08	←	予備08
予備09	←	予備09
予備10	←	予備10
登録日	←	システム日付(yyyyMMddHHmmss)
登録者	←	"Import"
更新日	←	システム日付(yyyyMMddHHmmss)
更新者	←	"Import"

10 DB終了処理

項目5から項目9までの間にエラーが発生した場合

ロールバックする

メッセージを表示する　「商品マスタの取込に失敗しました。」

上記以外の場合

コミットする

メッセージを表示する　「商品マスタ取込に成功しました」

■ 追加ボタン押下時

1. 商品マスタ追加ダイアログを表示する

<画面表示時>

右下のボタンCaptionを「追加」に変更

全ての項目をクリア

生産者項目は、前回本画面で登録したときの生産者項目を表示する

画面.生産者　＝　設定.前回生産者（AppSetting.ItemMasterMaintenance.DefaultProducer）

<戻るボタン押下時>

確認メッセージの表示　「商品マスタを登録せずに、戻りますか？」

⇒いいえの場合、確認メッセージを閉じる

⇒はいの場合、商品マスタ追加ダイアログを閉じる

<登録ボタン押下時>

①入力項目チェック

①-1 必須チェック

・生産者項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する　「生産者は必須項目です。生産者を入力して下さい」

・品名項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する　「品名は必須項目です。品名を入力して下さい」

・品種名項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する　「品種名は必須項目です。品種名を入力して下さい」

・等階級項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する　「等階級は必須項目です。等階級を入力して下さい」

・入数項目が未入力 or 0 の場合は、エラーメッセージを表示する　「入数には1以上の数字を入力して下さい」

②確認メッセージ

②-1 確認メッセージの表示　「商品マスタを登録します。よろしいですか？」

⇒いいえの場合、確認メッセージダイアログを閉じる

⇒はいの場合、以下の処理を継続する

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

③商品マスタ登録

③-1 商品マスタチェック

以下のSQLで商品マスタを参照し、重複チェックを行う

参照テーブル	商品マスタ		
抽出条件	生産者	=	画面.生産者
	品名	=	画面.品名
	品種名	=	画面.品種名
	等階級	=	画面.等階級
	入数	=	画面.入数
ソート	－		

⇒データが存在する場合、エラーメッセージを表示する　「入力された情報は既に登録されています。情報を更新する場合は、変更より行って下さい」

⇒データが存在しない場合、以下の処理をする

登録テーブル	商品マスタ		
登録内容	生産者	=	画面.生産者
	品名	=	画面.品名
	品種名	=	画面.品種名
	等階級	=	画面.等階級
	入数	=	画面.入数
	グループ名	=	画面.グループ名
	予備02	=	画面.予備02
	予備03	=	画面.予備03
	予備04	=	画面.予備04
	予備05	=	画面.予備05
	予備06	=	画面.予備06
	予備07	=	画面.予備07
	予備08	=	画面.予備08
	予備09	=	画面.予備09
	予備10	=	画面.予備10
	登録日	=	システム日付(yyyyMMddHHmmss)
	登録者	=	"Add"
	更新日	=	システム日付(yyyyMMddHHmmss)
	更新者	=	"Add"

⇒登録に失敗した場合、エラーメッセージを表示する　「商品マスタの登録に失敗しました」

④生産者を設定ファイルに登録をする

設定.前回生産者（AppSetting.ItemMasterMaintenance.DefaultProducer）　画面.生産者

⑤メッセージの表示

登録完了のメッセージを表示する　「商品マスタが登録されました」

■ 変更ボタン押下時

1. 入力値チェック

1-1 明細行(選択チェック)が1件も選択されていない場合は、エラーメッセージを表示する　「明細行が選択されていません。変更するデータを選択して下さい」

~~1-2 明細行(選択チェック)が複数件選択されている場合は、エラーメッセージを表示する~~　~~「明細行が複数選択されています。変更するデータを選択して下さい」~~

2. 商品マスタ変更ダイアログを表示する

<画面表示時>

①データの初期表示

選択された行の情報を画面に初期表示する（変更ダイアログにある全項目）

②画面項目毎の設定

・右下のボタンCaptionを「変更」に変更
・生産者項目を非活性
・品名項目を非活性
・品種名項目を非活性
・等階級項目を非活性
・入数項目を非活性

<戻るボタン押下時>

確認メッセージの表示　「商品マスタを更新せずに、戻りますか？」

⇒いいえの場合、確認メッセージを閉じる

⇒はいの場合、商品マスタ変更ダイアログを閉じる

<更新ボタン押下時>

~~①入力項目チェック~~

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

~~①-1 必須チェック~~

~~・入数項目が未入力 or 0 の場合は、エラーメッセージを表示する~~ 「入数には1以上の数字を入力して下さい」

①入力項目チェック

①-1 必須チェック

・生産者項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する 「生産者は必須項目です。生産者を入力して下さい」

・品名項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する 「品名は必須項目です。品名を入力して下さい」

・品種名項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する 「品種名は必須項目です。品種名を入力して下さい」

・等階級項目が未入力の場合は、エラーメッセージを表示する 「等階級は必須項目です。等階級を入力して下さい」

・入数項目が未入力 or 0 の場合は、エラーメッセージを表示する 「入数には1以上の数字を入力して下さい」

②確認メッセージ

②-1 確認メッセージの表示 「商品マスタを更新します。よろしいですか？」

⇒いいえの場合、確認メッセージダイアログを閉じる

⇒はいの場合、以下の処理を継続する

③商品マスタ更新

③-1 商品マスタ更新

以下のSQLで商品マスタを更新する（UPDATE）

更新テーブル	商品マスタ		
更新値	入数	←	画面.入数
	グループ名	←	画面.グループ名
	予備02	←	画面.予備02
	予備03	←	画面.予備03
	予備04	←	画面.予備04
	予備05	←	画面.予備05
	予備06	←	画面.予備06
	予備07	←	画面.予備07
	予備08	←	画面.予備08
	予備09	←	画面.予備09
	予備10	←	画面.予備10
	更新日	←	システム日付(yyyyMMddHHmmss)
	更新者	←	"UPD"
更新条件	生産者	=	画面.生産者
	品名	=	画面.品名
	品種名	=	画面.品種名
	等階級	=	画面.等階級
	入数	=	画面.入数

⇒更新に失敗した場合、エラーメッセージを表示する 「商品マスタの更新に失敗しました」

④メッセージの表示

更新完了のメッセージを表示する 「商品マスタが更新されました」

■ 削除ボタン押下時

1. 入力値チェック

1-1 明細行(選択チェック)が1件も選択されていない場合は、エラーメッセージを表示する 「明細行が選択されていません。削除するデータを選択して下さい」

~~1-2 明細行(選択チェック)が複数件選択されている場合は、エラーメッセージを表示する~~ ~~「明細行が複数選択されています。削除するデータを選択して下さい」~~

2. 商品マスタ削除ダイアログを表示する

＜画面表示時＞

①データの初期表示

選択された行の情報を画面に初期表示する（変更ダイアログにある全項目）

②画面項目毎の設定

・右下のボタンCaptionを「削除」に変更

・生産者項目を非活性

・品名項目を非活性

・品種名項目を非活性

・等階級項目を非活性

・入数項目を非活性

・グループ名、予備02～予備10項目を非活性

＜戻るボタン押下時＞

確認メッセージの表示 「商品マスタを削除せずに、戻りますか？」

⇒いいえの場合、確認メッセージを閉じる

⇒はいの場合、商品マスタ削除ダイアログを閉じる

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

<削除ボタン押下時>

①確認メッセージ

②-1 確認メッセージの表示　「表示されている情報を商品マスタから削除します。よろしいですか？」

⇒いいえの場合、確認メッセージダイアログを閉じる

⇒はいの場合、以下の処理を継続する

②-2 再度確認メッセージの表示　「本当によろしいですか？元に戻すことはできません。」　2024/11/26追加

⇒いいえの場合、確認メッセージダイアログを閉じる　2024/11/26追加

⇒はいの場合、以下の処理を継続する　2024/11/26追加

③商品マスタ削除

③-1 商品マスタ削除

以下のSQLで商品マスタを削除する（DELETE）

削除テーブル	商品マスタ		
更新条件	生産者	＝	画面.生産者
	品名	＝	画面.品名
	品種名	＝	画面.品種名
	等階級	＝	画面.等階級
	入数	＝	画面.入数

⇒削除に失敗した場合、エラーメッセージを表示する　「商品マスタからの削除に失敗しました」

④メッセージの表示

削除完了のメッセージを表示する　「商品マスタから削除されました」

■ ラベル発行ボタン押下時

1. 入力チェック

1-1.　１行も選択されていない場合

メッセージ「選択されていません」を表示

1-2.　選択されているかつ発行枚数が未入力の場合

メッセージ「発行枚数が入力されていません」を表示

1-3.　選択されているかつ発行枚数が未入力でない場合

メッセージ「ラベルを発行します。よろしいですか」を表示

1-3-1.　キャンセルボタン押下時はダイアログを閉じて処理を終了する

1-3-2.　OKボタン押下時は2.へ進む

2. モードの選択

モード選択ダイアログを表示し、出力モードを選択させる（どちらか一方のみ）

<画面表示時>

・通常モードにデフォルトチェックする

・次の項目は非活性とする

修正モード	未チェック	2024/10/18追加
出荷市場	空	
出荷市場コード(手入力)	空	
出荷市場名(手入力)	空	
送り状ナンバー	空	
出荷年月日	空	
口数	空	
輸送会社	空	
梱包数	空	2024/10/18変更

<前売モードチェック時>

・次の項目を活性化する

修正モード	未チェック	2024/10/18追加
出荷市場	選択項目を、出荷市場マスタの出荷市場名を表示順に追加する。最後の項目に「手入力」を追加する。デフォルト一番上位を選択状態にする。	
出荷市場コード(手入力)	出荷市場＝手入力の場合のみ活性化する。それ以外の場合は非活性化とする。出荷市場<>手入力の場合は、選択された出荷市場コードを表示	
出荷市場名(手入力)	出荷市場＝手入力の場合のみ活性化する。それ以外の場合は非活性化とする。出荷市場<>手入力の場合は、選択された出荷市場名を表示	
送り状ナンバー	空	
出荷年月日	空	
口数	空	
輸送会社	空	
梱包数	空	2024/10/18変更

<通常モードチェック時>

・次の項目は非活性とする

修正モード	未チェック	2024/10/18追加
出荷市場	空	

詳細設計	画面名	商品一覧画面
	機能	
	画面ID	

仕様

出荷市場コード(手入力) 空
出荷市場名(手入力)　空
送り状ナンバー　空
出荷年月日　空
口数　空
輸送会社　空
梱包数　空　2024/10/18変更

＜戻るボタン押下時＞
・モード選択ダイアログを閉じる

＜次へボタン押下時＞
・選択されたモードと入力された内容を引数として、ラベル発行確認ダイアログを表示する

■ 戻るボタン押下時
発行画面を閉じる

~~1. 入力チェック~~
~~1-1. グリッドの入力項目（発行枚数、注文区分、備考）が入力されている場合~~
~~メッセージ「入力内容がクリアされます。よろしいですか？」を表示~~
~~1-1. キャンセルボタン押下時はダイアログを閉じる~~
~~1-2. OKボタン押下時は発行画面を閉じる~~

~~1-2. グリッドの入力項目（発行枚数、注文区分、備考）が入力されていない場合~~
~~発行画面を閉じる~~

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2024/8/27	[redacted]		新規作成
2024/10/9	[redacted]	詳細設計	プリンタ機種名の表示を追加
2024/10/18	[redacted]	機能概要	修正モードで遷移された場合の処理を追加
2024/10/18	[redacted]	詳細設計	修正モードで遷移された場合の処理を追加
2024/10/25	[redacted]	詳細設計	送り状テーブル.口数への更新内容を変更
2024/10/29	[redacted]	詳細設計	↑の取消
2024/10/29	[redacted]	詳細設計	送り状テーブル作成時の作成レコード数の変更
2024/11/6	[redacted]	詳細設計	CSV出力後のメッセージを出力
2024/11/22	[redacted]	詳細設計	発行履歴から遷移した場合の抽出条件を修正
2025/9/12	[redacted]	機能概要、詳細設計	入数変更ダイアログ表示を追加
2025/9/25	[redacted]	詳細設計	内容変更で等階級も変更を可能とする
2025/10/1	[redacted]	詳細設計	L225～。送り状テーブル更新項目を追加
2025/10/17	[redacted]	詳細設計	ラベルNoの採番方法を変更

画面仕様	画面名	ラベル発行確認
	機能	
	画面ID	

内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
ヘッダ				
モード		ラベル		商品一覧から遷移時は、モードを表示。ラベル発行履歴から遷移時は空白を表示
ラベル総枚数		ラベル		発行枚数の合計、単位：枚
入数合計		ラベル		入数の合計、単位：本
総本数		ラベル		（入数×発行枚数）の合計、単位：本
明細				
選択		チェックボックス	チェック済	
生産者		ラベル		
品名		ラベル		
品種名		ラベル		
等階級		ラベル		
入数		ラベル		
発行枚数		ラベル		
削除		ボタン		
グループ名		非表示		
予備02		非表示		
予備03		非表示		
予備04		非表示		

画面仕様	画面名	ラベル発行確認
	機能	
	画面ID	

拡大
ラベル総枚数：　40[枚]

	予備05		非表示		
	予備06		非表示		
	予備07		非表示		
	予備08		非表示		
	予備09		非表示		
	予備10		非表示		
▲			ボタン		選択行を1行上に移動させる
▼			ボタン		選択行を1行下に移動させる
プリンタ機種名			ラベル		設定.プリンタ(ラベル発行)で選択されている内容を表示　2024/10/9追加
ラベル発行 or 確定			ボタン		2024/10/18変更
内容変更			ボタン		2025/9/12追加
CSV出力			ボタン		
戻る			ボタン		
■内容変更ダイアログ					
品名			ラベル		前画面で選択された品名　2025/9/11追加
品種名			ラベル		前画面で選択された品種名　2025/9/11追加
等階級：現在			ラベル		前画面で選択された等階級　2025/9/25追加
等階級：変更後			テキストボックス		2025/9/25追加
入数：現在			ラベル		前画面で選択された入数　2025/9/11追加
入数：変更後			テキストボックス		2025/9/11追加
OK			ボタン		変更を確定する　2025/9/11追加
キャンセル			ボタン		ダイアログを閉じる　2025/9/11追加

主な機能

- ラベル発行する一覧を画面表示し、ラベルを発行する
- 前売りモードでラベル発行を行った場合は、送り状データを作成する

基本動作

●画面初期表示時

<商品一覧から遷移した場合>

・発行モードを表示する（前画面で選択される）

・前画面で選択された明細のみを一覧で表示する

<ラベル発行履歴から遷移した場合>

・発行モードは空白で表示

・前画面で選択された明細のみを一覧で表示する

●明細.削除ボタン押下時

・確認ダイアログ表示

「品名：XXXX　品種名：XXXX　等階級：XXXX を印字対象から除外します
よろしいですか？」

・明細行を削除し、印字対象から帆買除外します

画面仕様	画面名	ラベル発行確認
	機能	
	画面ID	

拡大
ラベル総枚数：　40[枚]
入数合計：　12[本]

●▲ボタン押下時
・選択されている行がある場合は、1行上へ移動します
※印字は明細行の上から実施します

●▼ボタン押下時
・選択されている行がある場合は、1行下へ移動します
※印字は明細行の上から実施します

●ラベル発行 or 確定ボタン押下時
・~~明細行が１件もチェックされていない場合~~　~~「行選択されていません」~~
ラベル発行の場合
・選択されているプリンタの種類により２種類どちらかのラベルを発行する
①A4用紙6分割ラベル（現行）
②ラベルプリンタからのラベル（新規）
③ラベル発行履歴テーブルの更新
④前売りモードの場合は、送り状テーブルの更新
確定の場合
・ラベル発行はせず、送り状テーブルの更新を行う
①送り状テーブルの更新

●内容変更ボタン押下時
選択した行の等階級・入数を変更する。但し、変更時はラベル印字入数 & ラベル発行履歴 or 送り状テーブル 上のデータのみ変更し、商品マスタ.等階級・入数の変更はしない　2025/9/12追加

●CSV出力ボタン押下時
・~~明細行が１件もチェックされていない場合~~　~~「行選択されていません」~~
・CSV出力する

●戻るボタン押下時
ラベル発行確認ダイアログを閉じる

詳細設計	画面名	ラベル発行画面
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. 遷移元による[redacted]

⇒商品一覧画[redacted]示された場合は以下の画面初期処理を行う

モード　遷移元画面で選択されたモードを表示する（通常モード or 前売りモード)

ラベル総枚[redacted]　前画面で選択チェック済の明細行.発行枚数を全て合計した値を表示する

入数合計[redacted]　前画面で選択チェック済の明細行.入数を全て合計した値を表示する

総本数　前画面で選択チェック済の(明細行.入数×明細行.発行枚数)を全て合計した値を表示する

明細

- 生産者[redacted]　← 前画面で選択チェック済の明細.生産者を表示する
- 品名　← 前画面で選択チェック済の明細.品名を表示する
- 品種名[redacted]　← 前画面で選択チェック済の明細.品種名を表示する
- 等階級　← 前画面で選択チェック済の明細.等階級を表示する
- 入数　← 前画面で選択チェック済の明細.入数を表示する
- 発行枚数　← 前画面で選択チェック済の明細.発行枚数を表示する
- グループ名(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.グループ名をセットする
- 予備02(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備02をセットする
- 予備03(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備03をセットする
- 予備04(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備04をセットする
- 予備05(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備05をセットする
- 予備06(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備06をセットする
- 予備07(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備07をセットする
- 予備08(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備08をセットする
- 予備09(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備09をセットする
- 予備10(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.予備10をセットする
- 注文区分(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.注文区分をセットする
- 備考(非表示)　← 前画面で選択チェック済の明細.備考をセットする

プリンタ機種名　← 設定.プリンタ(ラベル発行)に設定されている値を表示する　2024/10/9追加

ラベル発行ボタン　← 遷移元画面(ダイアログ).修正モード=ONの場合は、ボタンキャプションを「確定」に変更　2024/10/18追加

上記以外は「ラベル発行」にする　2024/10/18追加

⇒発行履歴画面から表示された場合は以下の画面初期処理を行う

①発行履歴画面で選択チェック済行のみを取得し、1レコードづつ以下のSQLを実行し、画面表示するデータを取得する

~~※発行時刻が新しいレコードから順番に処理する~~

参照テーブル	ラベル発行履歴	
抽出条件	発行日 = 前画面.発行日(非表示項目)(yyyyMMdd)	
	発行時間※左から4桁(時分) = 前画面.発行時間(非表示項目)(HHmm)	2024/11/22修正
ソート	発行日(昇順)、発行時間(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)	2024/12/4修正

②内部Listに保存

取得したデータを内部Listに追加する

- 生産者　← ラベル発行履歴.生産者
- 品名　← ラベル発行履歴.品名
- 品種名　← ラベル発行履歴.品種名
- 等階級　← ラベル発行履歴.等階級
- 入数　← ラベル発行履歴.入数
- 発行枚数　← ラベル発行履歴.発行枚数
- グループ名　← ラベル発行履歴.グループ名
- 予備02　← ラベル発行履歴.予備02
- 予備03　← ラベル発行履歴.予備03
- 予備04　← ラベル発行履歴.予備04
- 予備05　← ラベル発行履歴.予備05
- 予備06　← ラベル発行履歴.予備06
- 予備07　← ラベル発行履歴.予備07
- 予備08　← ラベル発行履歴.予備08
- 予備09　← ラベル発行履歴.予備09
- 予備10　← ラベル発行履歴.予備10
- 注文区分　← ラベル発行履歴.注文区分
- 備考　← ラベル発行履歴.備考

イメージ

生産者	品名	品種名	等階級	入数	発行枚数
[redacted]	カーネーション	レインボー	秀品70cm	20	24
	カーネーション	レインボー	秀品60cm	20	24
	カーネーション	レインボー	優品70cm	20	24
	カーネーション	レインボー	優品50cm	20	24

※選択チェック済行の終わりまで①②を繰り返す

③画面表示

作成した内部Listを1レコード目から取得し画面表示する

モード　← 空白表示

ラベル総枚数　← 内部List.発行枚数の全て合計した値を表示する

入数合計　← 内部List.入数の合計した値を表示する

総本数　← (内部List.入数×内部List.発行枚数)の全て合計した値を表示する

明細

- 生産者　← 内部List.生産者
- 品名　← 内部List.品名
- 品種名　← 内部List.品種名
- 等階級　← 内部List.等階級
- 入数　← 内部List.入数
- 発行枚数　← 内部List.発行枚数
- グループ名(非表示)　← 内部List.グループ名
- 予備02(非表示)　← 内部List.予備02

詳細設計	画面名	ラベル発行画面
	機能	
	画面ID	

仕様

[redacted]

予備03(非表示)　← 内部List.予備03
予備04(非表示)　← 内部List.予備04
予備05(非表示)　← 内部List.予備05
予備06(非表示)　← 内部List.予備06
予備07(非表示)　← 内部List.予備07
予備08(非表示)　← 内部List.予備08
予備09(非表示)　← 内部List.予備09
予備10(非表示)　← 内部List.予備10
注文区分(非表示)　← 内部List.注文区分
備考(非表示)　← 内部List.備考
プリンタ機種名　← 設定.プリンタ(ラベル発行)に設定されている値を表示する　2024/10/9追加
ラベル発行ボタン　← ボタンキャプションを「ラベル発行」にする　2024/10/18追加

■ ラベル発行 or 確定 ボタン押下時　2024/10/18追加
※AppSetting.LabelPrint=Falseに設定されていると、pdfは作成されるが紙・ラベルは発行されないので注意！

1. 確認メッセージ
⇒キャプション=ラベル発行 の場合　2024/10/18追加
確認メッセージを表示する　「印刷を実行します。よろしいですか？」
⇒いいの場合、確認ダイアログを閉じる
⇒はいの場合、下記処理を継続する

⇒キャプション=確定 の場合　2024/10/18追加
確認メッセージを表示する　「修正モードの為、送り状データのみ作成します。　2024/10/18追加
⇒いいの場合、確認ダイアログを閉じる　ラベル発行は行いません。よろしいですか？」　2024/10/18追加
⇒はいの場合、下記処理を継続する

2. 発行日、発行時間の取得
1回の印字まとまりで同一の発行日、発行時間を更新したい為、このタイミングで日付と時刻を取得する
変数.発行日　← システム日付(yyyyMMdd)
変数.発行時間　← システム時刻(HHmmss)

3. 出力プリンタの分岐（現行はA4用紙に6等分したラベルを出力。今回ラベルプリンタからの出力を追加。現行出力はそのまま残す）
⇒キャプション=ラベル発行 の場合のみ以下処理を行う。=確定の場合は4の処理を実施する　2024/10/18追加
印字順番は明細行1行目から行う
①出力するプリンタにより、処理を分岐する
⇒設定画面で選択されたプリンタ(ラベル発行）欄の値に
「AppSetting.Report.LabelPrinterPrefix」が含まれる場合、ラベルプリンタ出力と判断し、ラベル発行する
※ラベル内容については「ラベルフォーマットとQRコード体系.xlsx」を参照

①-1 ラベル転送内容（ラベルNoは発行枚数毎に作成する)
生産者　← 画面.生産者
品名　← 画面.品名
品種名　← 画面.品種名
等階級　← 画面.等階級
入数　← 画面.入数
ラベルNo　← <ラベルNoの作成>を参照
※QRには「;」を付与
注文区分(QRのみ)　← 画面.注文区分
備考(QRのみ)　← 画面.備考
モード(QRのみ)　← 画面.モード
通常モードの場合、0をセット
前売りモードの場合、1をセット
空白の場合、0をセット

<ラベルNoの作成>
①値の取得
AppSetting.DeviceIDを取得
AppSetting.LabelIssueDateを取得
AppSetting.LabelNoを取得
AppSetting.PublisherCodeを取得
AppSetting.ProducerIdentifierを取得

②値の算出
・日付
AppSetting.LabelIssueDate(yyMMdd) <> システム日付(yyMMdd)の場合
⇒システム日付(yyMMdd) を採用・・・①
上記以外
⇒AppSetting.LabelIssueDate(yyMMdd)　を採用・・・①
・連番
AppSetting.LabelIssueDate(yyMMdd) <> システム日付(yyMMdd)の場合
⇒ 1 を採用・・・②
上記以外
⇒AppSetting.LabelNo + 1 を採用・・・②
・システム月
1.①で取得した日付から月部分を取得
2.下記に従い月をアルファベットに変換
01 ⇒ A
02 ⇒ B
03 ⇒ C
04 ⇒ D
05 ⇒ E
06 ⇒ F

詳細設計	画面名	ラベル発行画面
	機能	
	画面ID	

仕様

[redacted]

07 ⇒ G
08 ⇒ H
09 ⇒ I
10 ⇒ J
11 ⇒ K
12 ⇒ L

3.日付部分の作成
コードに採用する日付部分を下記に従って作成する
変数.コード日付 ← ①日付の年部分(yy) + 2.で取得したアルファベット + ①日付の日部分(dd)

③値の作成
~~AppSetting.DeviceID + 採用した① + 採用した②(5桁で前0埋めする)~~
"FQ"(固定) + "S"(固定) + AppSetting.PublisherCode + AppSetting.ProducerIdentifier
+ AppSetting.DeviceID + 変数.コード日付 + 採用した②(3桁で前0埋めする)

【例】
FQSKGWISH00125J16001

①-2 AppSettingの更新
①-1で採用した内容をAppSettingの各項目に更新する

⇒上記プリンタ名以外の場合は、現行ラベル（A4）の発行を行う
「ラベル仕様.xlsx」QRレイアウトシートの内容に従い、プリンタへラベル出力を指示する

~~品名~~	←	~~明細.品名~~
~~品種名~~	←	~~明細.品種名~~
~~入数~~	←	~~明細.入数~~
~~等階級~~	←	~~明細.等階級~~
~~生産者~~	←	~~空白~~
~~QRコード~~	←	~~明細.生産者名,明細.品名,明細.品種名,明細.入数,明細.等階級,明細.注文区分,明細.備考~~
~~発行枚数~~	←	~~明細.発行枚数~~

ラベルの転送項目については、上記①-1 ラベル転送内容を参照する

4. テーブルへの格納
印刷指示したデータはラベル発行履歴テーブルへ格納する
また、前売りモードで印字指示したデータについては、送り状テーブルも作成する

⇒キャプション=ラベル発行 の場合はラベル発行履歴、送り状テーブルの更新を行う。=確定の場合は送り状テーブルの作成のみ行う　2024/10/18追加
①以下の更新仕様に従って、ラベル発行履歴テーブルを追加する

登録テーブル	ラベル発行履歴テーブル	
登録内容	発行日	← 変数.発行日
	発行時間	← 変数.発行時間
	生産者	← 画面.生産者
	品名	← 画面.品名
	品種名	← 画面.品種名
	等階級	← 画面.等階級
	入数	← 画面.入数
	発行枚数	← 画面.発行枚数
	グループ名	← 画面.グループ名
	予備02	← 画面.予備02
	予備03	← 画面.予備03
	予備04	← 画面.予備04
	予備05	← 画面.予備05
	予備06	← 画面.予備06
	予備07	← 画面.予備07
	予備08	← 画面.予備08
	予備09	← 画面.予備09
	予備10	← 画面.予備10
	モード	← 画面.モード="通常モード"の場合、"0"
		← 画面.モード="前売りモード"の場合、"1"
		← 画面.モード="空白"の場合、"0"
	ラベルNo	← 3.①-1で作成したラベルNo
	注文区分	← 画面.注文区分

詳細設計	画面名	ラベル発行画面
	機能	
	画面ID	

仕様

[redacted]

	備考	← 画面.備考

②画面.モード="前売りモード"の場合は、以下の更新仕様に従って、送り状テーブルを追加する

※送り状テーブルの作成は、画面.発行枚数分レコードを作成する（発行枚数=4枚の場合、4レコード） 2024/10/29追加

登録テーブル	送り状テーブル			
登録内容	出荷日時	← 変数.発行日 & 変数.発行時間		
	出荷市場コード	← モード選択ダイアログ.出荷市場コード		
	出荷市場名	← モード選択ダイアログ.出荷市場名		
	送り状No	← モード選択ダイアログ.送り状No		
	出荷年月日	← モード選択.出荷年月日		
	口数	← モード選択.口数		2024/10/29変更
	輸送会社	← モード選択.輸送会社		
	梱包数	← モード選択.梱包数		2024/10/18変更
	販売先	← 空文字	※仕切り状取込で更新	
	送り状取込フラグ	← "0"(固定)		
	No	← 明細1件毎に連番をふる(=行番)		
	ラベルNo	← 3.①-1で作成したラベルNo	※発行枚数により連番がカウントアップする	
	生産者	← 画面.生産者		
	品名	← 画面.品名		
	品種名	← 画面.品種名		
	等階級	← 画面.等階級		
	入数	← 画面.入数		
	箱数	← 1 (固定)		
	総本数	← 画面.入数 × 箱数		
	単価	← 空文字	※仕切り状取込で更新	
	金額	← 空文字	※仕切り状取込で更新	
	注文区分	← 画面.注文区分		
	備考	← 画面.備考		
	グループ名	← 画面.グループ名		
	予備02	← 画面.予備02		
	予備03	← 画面.予備03		
	予備04	← 画面.予備04		
	予備05	← 画面.予備05		
	予備06	← 画面.予備06		
	予備07	← 画面.予備07		
	予備08	← 画面.予備08		
	予備09	← 画面.予備09		
	予備10	← 画面.予備10		
	明細識別番号	← 0		
	修正フラグ	← キャプション=ラベル発行 の場合は"0"、キャプション=確定の場合は"1"		2024/10/18追加
	取引区分	← "0"(固定)		2025/10/1追加
	取引単価	← 0		2025/10/1追加
	取引単価単位	← 0		2025/10/1追加
	取引備考	← 空文字		2025/10/1追加

箱数=1(固定)の理由
商品マスタのPKは生産者、品名、品種名、等階級、入数の為、
ラベル発行時にこの項目でダブルことはない
※発行履歴で見ても一緒
※HTからの出荷報告書では、バラバラに出力されたラベルを読む可能性があるので、
同一の生産者、品名、品種名、等階級、入数が存在する可能性があり、
箱数がカウントアップされる

5. メッセージの表示

⇒キャプション=ラベル発行 の場合 2024/10/18追加

処理が正常に終了した場合は、メッセージを表示する 「印刷処理を実行しました」

⇒キャプション=確定 の場合 2024/10/18追加

処理が正常に終了した場合は、メッセージを表示する 「送り状データを作成しました」 2024/10/18追加

6. 後処理

・前画面が商品一覧画面の場合は、商品一覧画面.明細の入力項目(選択チェック、発行枚数、注文区分、備考）をクリアする

・ラベル発行確認ダイアログを閉じる

※プリンタ側のエラー（紙切れやインクリボン切れ）はプリンタ側で処理するで良いので、画面上にプリンタ側エラーを出す必要はありません

※例えば100枚印字処理をし、98枚目でプリンタ側エラーとなったら98枚目から再印字できるような動作にしてください

■ 戻るボタン押下時

①確認メッセージの表示 「印字処理を中断し、戻りますか？」

⇒いいえの場合は、確認ダイアログを閉じる

⇒はいの場合、ラベル発行確認ダイアログを閉じる

■ 内容変更ボタン押下時

詳細設計	画面名	ラベル発行画面
	機能	
	画面ID	

仕様

[redacted]

①行選択チェック　2025/9/12追加

明細行が一行も選択されていない場合、メッセージを表示する　「明細行が選択されていません。入数変更するデータを選択して下さい」　2025/9/12追加

②画面表示　2025/9/12追加

入数変更ダイアログを表示し、以下の項目転送に従って画面表示する　2025/9/12追加

- ・品名　← 選択行.品名　2025/9/12追加
- ・品種名　← 選択行.品種名　2025/9/12追加
- ・等階級:現在　← "等階級：" + 選択行.等階級　2025/9/25追加
- ・等階級:変更後　← 選択行.等階級　2025/9/25追加
- ・入数:現在　← "入数：" + 選択行.入数　2025/9/12追加
- ・入数:変更後　← 選択行.入数　2025/9/12追加

③キャンセルボタン押下

入数変更を実施しない旨のメッセージを表示する　「入数は変更されません。よろしいですか？」

⇒OK：画面を閉じる

⇒キャンセル：画面にとどまる

④OKボタン押下

④-1 入数のチェック

・変更後の入数 = ""　の場合はメッセージを表示する　「入数が入力されていません。入数を入力してください」

・変更後の入数 = 0　の場合はメッセージを表示する　「入数が入力されていません。入数を入力してください」

等階級のチェック　2025/9/11追加

・変更後の等階級 = ""　の場合はメッセージを表示する　「等階級が入力されていません。等階級を入力してください」　2025/9/11追加

④-2 入数の変更

入数変更を実施する旨のメッセージを表示する　「入数を変更します。よろしいですか？」

⇒キャンセルの場合、画面にとどまる

⇒OKの場合、ラベル発行確認画面の入数を変更する

■ CSV出力ボタン押下時

画面の内容をCSV出力する

1. 確認メッセージの表示

確認メッセージを出力する　「CSV出力しますか？よろしいですか？」

⇒いいえの場合、メッセージダイアログを閉じる

⇒はいの場合、以下の処理を継続する

2. 名前をつけて保存 ダイアログボックスの表示

名前をつけて保存ダイアログを表示する

ファイル名：任意

ファイルの種類：.csv

保存ボタン押下で、フォイル保存PATHとファイル名を取得する

3. CSVデータ出力

CSVファイルの詳細内容は、「【ファイル仕様書】ラベル発行CSV」を参照

以下の出力仕様に従い、CSV出力する

- 生産者　← 画面.生産者
- 品名　← 画面.品名
- 品種名　← 画面.品種名
- 等階級　← 画面.等階級
- 入数　← 画面.入数
- 発行枚数　← 画面.発行枚数
- ラベル総枚数　← 画面.ラベル総枚数
- 入数合計　← 画面.入数合計
- 総本数　← 画面.総本数

※ファイル保存PATHとファイル名でCSVファイルを作成する

4. メッセージの出力

処理が正常終了した場合は、メッセージを出力する　「CSV出力しました」

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2024/8/27	[redacted]		新規作成
2024/9/17	[redacted]		表示件数を制限する機能を追加
2024/11/7	[redacted]	詳細設計	発行枚数の取得をMAXからSUMに変更
2024/11/22	[redacted]	詳細設計	発行時間を左から4桁(時分)で取得するように修正

画面仕様	画面名	発行履歴確認
	機能	
	画面ID	

内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
明細				
選択		チェックボックス	チェック済	
発行時刻		ラベル		
発行枚数		ラベル		
発行日		非表示		
発行時刻		非表示		
ラベル発行		ボタン		
戻る		ボタン		

主な機能

- ラベル発行履歴を一覧で表示する

画面仕様	画面名	発行履歴確認
	機能	
	画面ID	

基本動作

●画面初期表示時
・ラベル発行履歴テーブルよりデータを取得する
・取得したデータが設定値[制限行数]を超える場合　「発行履歴が｛制限行数｝を超えます。制限して表示します。発行履歴件数＝｛表示件数｝
・ラベル発行履歴を一覧で表示する（設定値[制限行数]で表示件数を制限する）

●ラベル発行ボタン押下時
・明細行が１件もチェックされていない場合　「行選択されていません」
・ラベル発行画面へ遷移する

●戻るボタン押下時
ラベル発行確認ダイアログを閉じる

詳細設計	画面名	発行履歴確認
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. 表示件数取得

ラベル発行履歴テーブルより表示件数を取得する

参照テーブル	ラベル発行履歴テーブル
取得項目	レコード件数
集計条件	発行日
	発行時間 ※左から4桁(時分)

上記クエリで取得したレコード件数が表示件数となる

2. 表示件数のチェック

表示件数が設定値[制限行数]を超える場合

メッセージ「発行履歴が｛制限行数｝を超えます。制限して表示します。発行履歴件数＝｛表示件数｝」を表示

3. 表示データ取得

ラベル発行履歴テーブルより表示データを取得する

参照テーブル	ラベル発行履歴テーブル	
取得項目	発行日	
	発行時間 ※左から4桁(時分)	
	~~MAX（発行枚数）⇒ SUM(発行枚数)~~	2024/11/7変更
	~~レコード件数~~	2024/11/7変更
集計条件	発行日	
	発行時間 ※左から4桁(時分)	
	~~レコード番号 <＝設定値[制限行数]~~	
行数規制	あり(設定値[制限行数]まで)	2024/11/7変更
ソート	発行日(降順)、発行時間(降順) ※左から4桁(時分)	

4. 画面への表示

下記の転送内容に従い画面表示を行う

選択チェック ← 未チェック
発行時刻 ← 取得項目.発行日(yyyy/MM/dd) & "-" & 取得項目.発行時間(HH:mm)
発行枚数 ← 取得項目.レコード件数 & "枚"
発行日(非表示) ← 取得項目.発行日
発行時間(非表示) ← 取得項目.発行時間

■ ラベル発行ボタン押下時

1. 入力チェック

1-1. １行も選択されていない場合

メッセージ「選択されていません」を表示

2. ダイアログ表示

ラベル発行画面を表示する

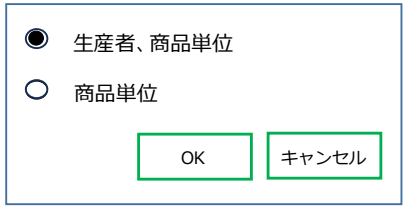
■ 戻るボタン押下時

メニュー画面へ遷移する

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2023/9/22	[redacted]	詳細設計	新規作成
2024/10/4	[redacted]	詳細設計	花き　EDIフォーマット対応
2024/10/9	[redacted]	詳細設計	設計レビュー指摘修正（BHT-Link試用版)
2024/10/18	[redacted]	詳細設計	修正フラグ=1の時、文字色を赤で表示に変更。CSV出力ボタンを市場連携出力(CSV)に変更
2024/10/25	[redacted]	詳細設計	明細の並び順に明細識別番号を追加
2024/10/28	[redacted]	詳細設計	仕切り状データ取込部分を刷新
2024/11/13	[redacted]	詳細設計	送り状テーブル作成時の出荷日時、Noの更新内容を変更。
2024/11/13	[redacted]	詳細設計	送り状データ.出荷市場コード、出荷市場名を必須チェック追加
2024/11/13	[redacted]	詳細設計	商品マスタの参照に生産者を追加
2024/11/19	[redacted]	詳細設計	386行目：金額<>0 を 金額=0 に修正。金額=0のレコードを更新したい為
2024/11/19	[redacted]	詳細設計	仕切り状取込時のフォルダ選択をファイル選択に変更（商品マスタ取込時の同様）
2024/11/19	[redacted]	詳細設計	仕切り状取込フラグの更新を追加
2024/12/5	[redacted]	詳細設計	送り状テーブルInsert時の明細識別番号は仕切り状データの明細識別番号を更新
2024/12/5	[redacted]	詳細設計	エラー時の送り状テーブル作成時、出荷年月日に仕切り状データ.出荷日を登録する
2024/12/5	[redacted]	詳細設計	明細表示のソート順を変更（出荷日時(降順))を削除
2025/1/28	[redacted]	詳細設計	L568、L573。品目名に品種名、等級名に等階級を代入するように変更
2025/2/7	[redacted]	詳細設計	L569、L572。品目名に品名、品名に品目名を代入するように変更
2025/9/11	[redacted]	詳細設計	仕切状検索条件削除。表示項目削除。仕切状取込仕様を削除
2025/10/1	[redacted]	詳細設計	L265～HTから送り状データを作成する際の更新項目を追加
2025/10/3	[redacted]	詳細設計	L603、L607品目名、商品名の内容を変更
2025/10/16	[redacted]	詳細設計	明細識別番号を前方一致検索に変更(L50)
2025/10/17	[redacted]	詳細設計	L562～L582　明細識別番号の採番方法変更、L712～L732　MPSジャパン連携ファイル出力
2025/10/20	[redacted]	詳細設計	L531、L532、L547～L550、L656~L665　取引区分の追加
2025/11/19	[redacted]	詳細設計	L220～。送り状データ作成時、商品マスタに値が存在しない場合は予備01～予備10に空文字をセット

画面仕様	画面名	送り状一覧
	機能	
	画面ID	



内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
検索条件エリア				
出荷年月日　（FROM）		デートピッカー		
出荷年月日　（TO）		デートピッカー		
出荷市場		コンボボックス		送り状テーブルの出荷市場を集約して表示
明細識別番号	16	テキストボックス		2025/10/1追加
~~仕切り状~~		~~コンボボックス~~		~~あり or なし~~ 2025/9/11削除
検索		ボタン		検索条件に指定された内容でテーブルを参照し、一致する内容を一覧表示する
クリア		ボタン		検索条件をクリアする
選択件数		ラベル		選択件数を表示 2025/9/11削除
表示件数		ラベル		表示件数を表示 2025/9/11削除
検索結果一覧				
検索結果件数		ラベル		検索件数を表示
出荷日時		非表示		テーブル内容を表示
出荷市場		ー		テーブル内容を表示
送り状No		ー		テーブル内容を表示
出荷年月日		ー		テーブル内容を表示
口数		ー		テーブル内容を表示

画面仕様	画面名	送り状一覧
	機能	
	画面ID	

	輸送会社		ー		テーブル内容を表示
	輸送手段		ー		テーブル内容を表示
	~~仕切り状~~		~~ー~~		~~テーブル内容を表示~~ 2025/9/11削除
送り状取込			ボタン		送り状ファイルを取込む
~~仕切状取込~~			~~ボタン~~		~~仕切り状ファイルを取込む~~ 2025/9/11削除
出荷報告書発行			ボタン		選択した行の出荷報告書を発行する
~~CSV出力~~ ⇒ 市場連携出力(CSV)			ボタン		選択した行の送り状をCSV出力する 2024/10/18変更
送り状削除			ボタン		選択した行の送り状をデータ削除する
戻る			ボタン		送り状一覧画面を閉じる

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
市場選択ダイアログ				
市場選択		コンボボックス		
OK		ボタン		
キャンセル		ボタン		

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
市場選択＆出力単位ダイアログ				
市場選択		コンボボックス		
生産者・商品単位		ラジオボタン		
商品単位		ラジオボタン		
OK		ボタン		
キャンセル		ボタン		

主な機能

- 送り状CSV、仕切り状CSVを取込、データベースに登録する
- 出荷報告書を印字する(プリンタに出力する) ※印刷プレビューなし

基本動作

●画面初期表示時
①検索条件項目をクリア
②コンボボックスの作成

●検索ボタン押下時
検索条件に指定された内容で送り状テーブルを参照し、一致する内容を一覧表示する
表示順：生産者(昇順)、出荷市場(昇順)、出荷年月日(昇順)、送り状No

画面仕様	画面名	送り状一覧
	機能	
	画面ID	

●取込ボタン押下時(送り状取込、~~仕切り状取込~~)

①ファイル選択ダイアログを表示
②選択されたファイルから送り状（仕切り状）ファイルを格納する
③選択されたファイル内容をチェック　⇒「選択されたファイルのフォーマットが異なります。」
④正常に取りこまれた場合は確認メッセージを表示　⇒「ファイルを取込みました」

●出荷報告書発行ボタン押下時

①~~市場選択&~~出力単位ダイアログを表示
選択した送り状の出荷報告書を出力する

●CSV出力ボタン押下時

選択した送り状データをCSV(花きEDI標準フォーマット)で出力する

●行をダブルクリック

送り状詳細画面へ遷移する

●送り状削除ボタン押下時

選択した送り状データを削除する

●戻るボタン押下時

メニューへ遷移する

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. データベース接続
   設定ファイルから取得した情報でデータベースへ接続する
   ⇒接続できない場合はエラーメッセージを出力　「データベースへ接続できません。データベースの状態、ネットワーク環境を確認ください」

2. 以下の画面項目をクリアする
   ・検索条件
   ・明細データ

3. 検索条件の作成(ドロップダウンリスト)
   ①出荷市場ドロップダウンリストの作成
   以下のSQLを実行し、出荷市場一覧を取得する

参照テーブル	送付状テーブル
集計条件	出荷市場
ソート	出荷市場（昇順）

   ⇒データが取得できない場合、~~メッセージNo.message_error_0003を表示する~~メッセージを表示せず、出荷市場ドロップダウンリストに空白のみセットする
   ⇒データが取得できる場合、出荷市場ドロップダウンリスト内容として画面上セットする

   ~~②仕切り状ドロップダウンリストの作成~~　2025/9/12削除
   ~~「なし」「あり」(固定)~~　2025/9/12削除

   ※いづれのドロップダウンリストも1行目は空白行（未選択）を設ける

■ 検索ボタン押下時

1. 検索実施
   下記SQLを実行し、送り状データを取得する

参照テーブル	送り状テーブル　A				
集計条件	A.出荷日時(distinct)				
取得項目	A.生産者				
	A.出荷市場				
	A.送り状NO				
	A.出荷年月日				
	A.口数				
	A.輸送会社				
	A.輸送手段				
	A.仕切り状取込区分　AS 仕切り状				
	A.出荷日時				
	A.修正フラグ				2024/10/18追加
抽出条件	~~A.生産者~~	~~＝~~	~~画面.生産者~~		
	A.出荷市場	＝	画面.出荷市場	指定されている時のみ	
	A.出荷年月日	>=	画面.出荷年月日(FROM)	指定されている時のみ	
	A.出荷年月日	<=	画面.出荷年月日(TO)	指定されている時のみ	
	A.明細識別番号	LIKE	画面.明細識別番号 ＋ '%'	指定されている時のみ　前方一致検索	2025/10/16変更
ソート	~~A.生産者(昇順)、A.出荷市場(昇順)、A.出荷年月日(昇順)、A.送り状NO(昇順)~~				2024/10/25削除
	~~A.出荷日時(降順)、A.生産者(昇順)、A.出荷市場(昇順)、A.出荷年月日(昇順)、A.送り状NO(昇順)~~				2024/12/5削除
	A.生産者(昇順)、A.出荷市場(昇順)、A.出荷年月日(昇順)、A.送り状NO(昇順)				**2024/12/5変更**

プログラム上、仕切り状の条件が入っている場合は削除する

2025/09/11

   ⇒一致するデータが存在しない場合は、エラーメッセージを表示する　「検索条件に一致するデータは存在しませんでした」
   ⇒一致するデータが存在する場合、下記転送内容に従って画面表示する

出荷市場	←	A.出荷市場
送り状No	←	A.送り状No
出荷年月日	←	A.出荷年月日
口数	←	A.口数
輸送会社	←	A.輸送会社
~~輸送手段~~⇒梱包数	←	A.輸送手段
~~仕切り状~~	~~←~~	~~仕切り状 ＝ "0"「なし」 左記以外「あり」~~　2025/9/11削除
出荷日時(非表示)	←	A.出荷日時

   また、A.修正フラグ="1"の場合、対象行の文字色を#ff4500(orangered)にする　2024/10/18追加
   また、A.修正フラグ="2"の場合、対象行の背景色を#ff7f50carol)、にする　2024/10/28追加

■ クリアボタン押下時

1. 検索項目をクリアする

■ 送り状取込ボタン押下時
   DNWA製BHTLinkライブラリを用いて、DNWA製Andoridハンディからファイルを取得する

1. ハンディをクレードルにセットするように指示
   メッセージを表示する　「ハンディをクレードルにセットしてください」

~~2. BHTLink用のライセンスコードを取得~~
   ~~BHTLinkAccessCode　＝　設定ファイル.BHTLinkAccessCode~~　※今回は試用版で使用します

3. デバイスリストの取得
   BHTLink.GetDevicesを実行
   失敗した場合
   エラーメッセージを表示する　「ハンディと接続できません」

4. ファイルリストの取得
   ハンディ内の指定フォルダに存在するファイル名一覧を取得する

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

ハンディ内の指定フォルダ＝内部共有ストレージ¥Download¥ShippingLabelHT（固定）
BHTLink.GetFilesを実行
失敗した場合
エラーメッセージを表示する　「ハンディと接続できません」

5. ファイルリストの名前をチェックし、有効なファイルリストを取得する
条件
先頭が「送り状」であること
拡張子が[csv]であること

6. 有効なファイルリストの件数チェック
０件の場合
エラーメッセージを表示する　「送り状が存在しません」

7. PC内ダウンロードフォルダ内のファイルをすべて削除する
PC内ダウンロードフォルダ＝[exeフォルダ]¥bhtdownload

8. ハンディ内指定フォルダ内の複数ファイルを、PC内ダウンロードフォルダへダウンロードする
BHTLink.GetFilesを実行（ファイル数分、複数回実行）
BHTLinkのライセンス登録をしていない場合
試用版で動作することを通知するメッセージを表示　メッセージ内容はBHTLinkのライブラリに依存
~~失敗した場合~~
~~エラーメッセージを表示する~~　~~「ハンディと接続できません」~~　※今回は試用版で使用します

9. DB接続開始
DB接続
DBトランザクション開始

10. 有効なファイルリスト内の複数ファイルに対して、１ファイル毎の処理開始

11. ファイルを読み込む
11-1　下記内容を1行毎にチェックし、内容を満たしていない項目についてはエラーメッセージを表示する
※エラーメッセージの末尾には取込対象のファイル名を付与する。
・項目数のチェック
項目数：21　「項目数が21ではありません。XX行目を確認してください。」

・1要素目(ラベルNo)
属性：文字列
桁数：20文字以内　「ラベルNo項目に不備があります。¥nXX行目を確認してください」

・2要素目(生産者)
属性：文字列
桁数：60文字以内　「生産者項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・3要素目(品名)
属性：文字列
桁数：60文字以内　「品名項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・4要素目(品種名)
属性：文字列
桁数：60文字以内　「品種名項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・5要素目(等階級)
属性：文字列
桁数：30文字以内　「等階級項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・6要素目(入数)
属性：数値（整数）
桁数：10桁以内　「入数項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・7要素目(箱数)
属性：数値（整数）
桁数：10桁以内　「箱数項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・8要素目(総本数)
属性：数値（整数）
桁数：10桁以内　「総本数項目に不備があります。XX行目を確認してください」

~~・9要素目(単価)~~
~~属性：数値（整数）~~
~~桁数：10桁以内~~　~~「単価項目に不備があります。XX行目を確認してください」~~

~~・10要素目(金額)~~
~~属性：数値（整数）~~
~~桁数：10桁以内~~　~~「金額項目に不備があります。XX行目を確認してください」~~

~~・11要素目(販売先)~~
~~属性：文字列~~

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

~~桁数：50文字以内~~ ~~「販売先項目に不備があります。XX行目を確認してください」~~

・12要素目(注文区分)
属性：文字列
桁数：30文字以内 「注文区分項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・13要素目(備考)
属性：文字列
桁数：30文字以内 「備考項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・14要素目(出荷市場コード)
属性：文字列
桁数：10文字以内 「出荷市場コード項目に不備があります。XX行目を確認してください」
必須チェックを行う 2024/11/13追加

・15要素目(出荷市場)
属性：文字列
桁数：50文字以内 「出荷市場項目に不備があります。XX行目を確認してください」
必須チェックを行う 2024/11/13追加

・16要素目(送り状No)
属性：文字列
桁数：20文字以内 「送り状No項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・17要素目(出荷年月日)
属性：文字列
桁数：10文字以内 「出荷年月日項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・18要素目(口数)
属性：数値（整数）
桁数：10桁以内 「口数項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・19要素目(輸送会社)
属性：文字列
桁数：50文字以内 「輸送会社項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・20要素目(梱包数)
属性：文字列
桁数：50文字以内 「梱包数項目に不備があります。XX行目を確認してください」

・21要素目(送り状発行日付)
属性：文字列
桁数：14文字以内 「送り状発行日付項目に不備があります。XX行目を確認してください」

11-2. 送り状テーブルへレコードを登録する

①商品マスタを参照
以下のSQLを実行し、商品マスタから必要な項目を取得する

参照テーブル	商品マスタ		
抽出条件	生産者	＝	ファイル.生産者
	品名	＝	ファイル.品名
	品種名	＝	ファイル.品種名
	等階級	＝	ファイル.等階級
	入数	＝	ファイル.入数
ソート	-		

2024/11/13追加

⇒一致するデータが存在しない場合、~~エラーメッセージを表示する~~変数に値を格納し処理を継続する ~~「商品マスタに存在しない為、送り状データを作成できません~~ 2025/11/19削除
~~品番：XXX 品種名：XXXXX 等階級：XXXXX 入数：XXXXX~~ 2025/11/19追加
変数.予備01 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備02 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備03 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備04 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備05 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備06 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備07 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備08 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備09 ← "" 2025/11/19追加
変数.予備10 ← "" 2025/11/19追加

⇒一致するデータが存在する場合、変数に値を格納し処理を継続する 2025/11/19追加
変数.予備01 ← 商品マスタ.予備01 2025/11/19追加
変数.予備02 ← 商品マスタ.予備02 2025/11/19追加
変数.予備03 ← 商品マスタ.予備03 2025/11/19追加
変数.予備04 ← 商品マスタ.予備04 2025/11/19追加
変数.予備05 ← 商品マスタ.予備05 2025/11/19追加
変数.予備06 ← 商品マスタ.予備06 2025/11/19追加
変数.予備07 ← 商品マスタ.予備07 2025/11/19追加
変数.予備08 ← 商品マスタ.予備08 2025/11/19追加
変数.予備09 ← 商品マスタ.予備09 2025/11/19追加
変数.予備10 ← 商品マスタ.予備10 2025/11/19追加

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

②出荷日時の取得 2024/11/13追加

変数.出荷日時　← システム日付(yyyyMMddHHmmss) 2024/11/13追加

※1ファイル内では同一の日時を更新する 2024/11/13追加

②送り状データの作成

以下の転送内容に従い、送り状テーブルを登録する

登録テーブル	送り状テーブル		
登録値	出荷日時	変数.出荷日時	2024/11/13追加
	出荷市場コード	ファイル.出荷市場コード	
	出荷市場名	ファイル.出荷市場名	
	送り状No	ファイル.送り状No	
	出荷年月日	ファイル.出荷年月日	
	口数	ファイル.口数	
	輸送会社	ファイル.輸送会社	
	梱包数	ファイル.梱包数	
	販売先	空文字	
	仕切り状取込フラグ	0固定	
	No	1ファイル内でシーケンスな番号を振る	2024/11/13追加
	ラベルNo	ファイル.ラベルNo	
	生産者	ファイル.生産者	
	品名	ファイル.品名	
	品種名	ファイル.品種名	
	等階級	ファイル.等階級	
	入数	ファイル.入数	
	箱数	ファイル.箱数	
	総本数	ファイル.総本数	
	単価	0固定	
	金額	0固定	
	注文区分	ファイル.注文区分	
	備考	ファイル.備考	
	予備01	変数.予備01	2025/11/19変更
	予備02	変数.予備02	2025/11/19変更
	予備03	変数.予備03	2025/11/19変更
	予備04	変数.予備04	2025/11/19変更
	予備05	変数.予備05	2025/11/19変更
	予備06	変数.予備06	2025/11/19変更
	予備07	変数.予備07	2025/11/19変更
	予備08	変数.予備08	2025/11/19変更
	予備09	変数.予備09	2025/11/19変更
	予備10	変数.予備10	2025/11/19変更
	明細識別番号	空文字	
	修正フラグ	0(固定)	2024/10/18追加
	取引区分	"0"(固定)	2025/10/1追加
	取引単価	0	2025/10/1追加
	取引単価単位	0	2025/10/1追加
	取引備考	空文字	2025/10/1追加

12. 有効なファイルリスト内の複数ファイルに対して、1ファイル毎の処理終了

13. ハンディ内指定フォルダ内の複数ファイルを、削除する

BHTLink.DeleteFileを実行（ファイル数分、複数回実行）

BHTLinkのライセンス登録をしていない場合

試用版で動作することを通知するメッセージを表示　メッセージ内容はBHTLinkのライブラリに依存

~~失敗した場合~~

~~エラーメッセージを表示する~~　~~「ハンディと接続できません」~~

14. DB接続終了

処理9～13において、エラーが発生した場合

DBロールバックする

DB切断

それ以外

DBコミットする

DB切断

■ ~~仕切り状取込ボタン押下時~~ 2025/9/11削除

~~1. ●●<取込共通処理>●●を処理する~~

~~●●<取込共通処理>●●~~

1. 処理分岐

~~⇒仕切り状取込から呼び出された場合~~

~~App.Setting.BillImportPathを取得する~~

~~⇒送り状取込から呼び出された場合~~

~~App.Setting.InvoiceImportPathを取得する~~

~~2. 取込フォルダの設定~~ 2024/11/19削除

~~1.で取得した各設定PATHを処理する~~ 2024/11/19削除

~~⇒未指定の場合、~~ 2024/11/19削除

~~①「フォルダ選択ダイアログを表示する~~ 2024/11/19削除

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

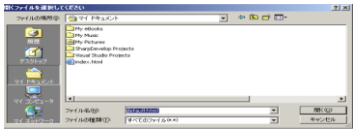
~~⇒キャンセルボタン押下時はダイアログを閉じて処理を終了する~~ 2024/11/19削除
~~⇒OKボタン押下時は選択フォルダ内にあるファイルを全て取得する~~ 2024/11/19削除

~~⇒指定済の場合、~~ 2024/11/19削除
~~指定フォルダ配下にあるファイルを全て取得する~~ 2024/11/19削除

~~2. メッセージNo.info_1001のダイアログを表示する~~
~~2-1. キャンセルボタン押下時はダイアログを閉じて処理を終了する~~
~~2-2. OKボタン押下時は以下の処理に進む~~

~~3. ファイル拡張子のチェックを行う~~ 2024/11/19削除
~~3-1 ファイル拡張子が ".csv" では無い場合、メッセージNo.error_0001を表示する~~ 2024/11/19削除

~~2. ファイル選択~~ ~~2024/11/19追加~~
~~ファイル選択ダイアログを表示し、取込みする仕切り状CSVを選択させる~~ ~~2024/11/19追加~~



~~3. 仕切り状データを参照し、必要な項目を取得する~~
~~4-1 項目数が２０個では無い場合、メッセージNo.error_0002（%1 = "31"）を表示する~~
~~①データ参照~~
~~①-1 ヘッダ情報の取得~~ ~~2024/10/28追加~~
~~メッセージ種別="3" and レコード種別="1" のレコードを探す~~ ~~※ファイルフォーマットは「edi_format12.pdf」を参照（項目のダブルクォート有無や符号有無も確認をする）~~
~~⇒一致するデータが一件も存在しない場合は、エラーメッセージを表示する~~ ~~「選択されたファイルは仕切り状ファイルではありません。~~ ~~2024/10/28追加~~
~~ファイルをもう一度確認してください」~~ ~~2024/10/28追加~~
~~⇒一致するデータが存在する場合（このレコードは１件しかない）、以下の項目を取得しておく~~ ~~2024/10/28追加~~
~~変数.卸売会社コード ← 13項目目(卸売会社コード1)~~ ~~2024/10/28追加~~
~~変数.卸売会社名 ← 15項目目(卸売会社名)~~ ~~2024/10/28追加~~
~~変数.生産者名 ← 19項目目(出荷者名)~~ ~~2024/10/28追加~~
~~変数.出荷日 ← 12項目目(出荷日) ※yyyy/MM/ddにフォーマットする~~ ~~2024/10/28追加~~

~~①-2 明細情報の取得~~
~~メッセージ種別="3" and レコード種別="2" のレコードを探す（それ以外は読み捨てる）~~ ~~※ファイルフォーマットは「edi_format12.pdf」を参照（項目のダブルクォート有無や符号有無も確認をする）~~
~~⇒一致するデータが一件も存在しない場合は、エラーメッセージを表示する~~ ~~「選択されたファイルは仕切り状ファイルではありません。~~
~~ファイルをもう一度確認してください」~~

~~②出荷日時の作成~~ ~~2024/10/28追加~~
~~送り状テーブル作成の際の出荷日時は1回の取込で同一のモノを更新する為、ここで作成する。※送り状一覧画面では１行で表示される~~ ~~2024/10/28追加~~
~~変数.出荷日時 ← システム日時（yyyyMMddHHmmss）~~ ~~2024/10/28追加~~

~~③データ取得~~
~~概要~~ ~~2024/10/28追加~~
~~送り状データとして発送した明細識別番号を市場から仕切り状データとして返却してもらい~~ ~~2024/10/28追加~~
~~明細識別番号が一致するレコードに対して、仕切り金額他を更新する~~ ~~2024/10/28追加~~
~~但し、明細識別番号が返却されない場合（送り状データなしで仕切り状を作成した場合）~~ ~~2024/10/28追加~~
~~入数、等階級が送り状と異なる場合など、イレギュラーが存在する~~ ~~2024/10/28追加~~
~~イレギュラーの場合のデータは送り状テーブルへ追加し、画面上エラーデータとして表示する~~ ~~2024/10/28追加~~

~~③-1 ①のレコードが見つかったら、そのレコードを「,(カンマ)」でSplitする~~

~~③-2 47項目目(明細識別番号) を取得する~~ ~~2024/10/28追加~~
~~⇒明細識別番号＝空文字の場合~~ ~~2024/10/28追加~~
~~★1 下記テーブル転送内容に従って送り状テーブルにINSERTする~~ ~~2024/10/28追加~~

~~追加テーブル~~	~~送り状テーブル~~		~~2024/10/28追加~~
~~追加内容~~	~~出荷日時~~	~~← 変数.出荷日時~~	~~2024/10/28追加~~
	~~出荷市場コード~~	~~← 変数.卸売会社コード~~	~~2024/10/28追加~~
	~~出荷市場名~~	~~← 変数.卸売会社名~~	~~2024/10/28追加~~
	~~送り状No~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~出荷年月日~~	~~← **12項目目(出荷日)**~~	~~2024/12/5追加~~
	~~日数~~	~~← 21項目目(日数)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~輸送会社~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~梱包数~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~販売先~~	~~← 33項目目(注文備考)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~仕切り状取込フラグ~~	~~← "1"（固定）~~	~~2024/10/28追加~~
	~~No~~	~~← 変数.出荷日時内の連番~~	~~2024/10/28追加~~
	~~ラベルNo~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~生産者~~	~~← 変数.生産者名~~	~~2024/10/28追加~~
	~~品名~~	~~← 10項目目(商品名)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~品種名~~	~~← 08項目目(品目名)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~等階級~~	~~← 12項目目(等級名) & 14項目目(階級名)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~入数~~	~~← 20項目目(入数)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~箱数~~	~~← 1（固定）~~	~~2024/10/28追加~~
	~~総本数~~	~~← 22項目目(数量)~~	~~2024/10/28追加~~

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

	~~単価~~	~~← 29項目目(仕切単価)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~金額~~	~~← 28項目目(仕切金額)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~注文区分~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~備考~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~グループ名~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備02~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備03~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備04~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備05~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備06~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備07~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備08~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備09~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備10~~	~~← 空文字~~	~~2024/10/28追加~~
	~~明細識別番号~~	~~← **47項目目(明細識別番号)**~~	~~2024/12/5追加~~
	~~修正フラグ~~	~~← "2" (固定)~~	~~2024/10/28追加~~
			~~2024/10/28追加~~

~~⇒明細識別番号<> 空の場合、~~ ~~2024/11/19追加~~

~~①送り状テーブル.仕切り状取込フラグの更新~~ ~~2024/11/19追加~~

~~以下のSQLを実行し、送り状テーブルを更新する~~ ~~2024/11/19追加~~

~~更新テーブル~~	~~送り状テーブル~~		~~2024/11/19追加~~
~~更新値~~	~~仕切り状取込フラグ~~	~~← "1"~~	~~2024/11/19追加~~
~~更新条件~~	~~明細識別番号~~	~~= 取得した明細識別番号~~	~~2024/11/19追加~~

~~②取得した明細識別番号を使用して、送り状テーブルを参照する~~

~~参照テーブル~~	~~送り状テーブル~~		~~2024/10/28追加~~
~~抽出条件~~	~~明細識別番号~~	~~= 取得した明細識別番号~~	~~2024/10/28追加~~
	~~金額~~	~~= 0~~	~~2024/11/19追加~~
~~ソート~~	~~-~~		~~2024/10/28追加~~

~~⇒一致するデータが存在しない場合、エラーメッセージを表示~~ ~~「明細識別番号が送り状データに存在しない為、~~ ~~2024/10/28追加~~

~~仕切り状データを取り込めません」~~ ~~2024/10/28追加~~

~~⇒一致するデータが存在する場合、以下のチェックを行う~~ ~~2024/10/28追加~~

~~①等階級チェック~~ ~~2024/10/28追加~~

~~・送り状テーブル.等階級(1レコード目) <>~~ ~~2024/10/28追加~~

~~2024/10/28追加~~

~~②入数チェック~~ ~~2024/10/28追加~~

~~・送り状テーブル.入数 <> 20項目目(入数)の場合、送り状テーブルにINSERTする~~ ~~2024/10/28追加~~

~~★1と同様の処理をする~~ ~~2024/10/28追加~~

~~③チェックスルー（上記チェックをスルーしたデータ）~~ ~~2024/10/28追加~~

~~③-1 更新Key項目の取得~~ ~~2024/10/28追加~~

~~参照した送り状テーブルの１件目の以下項目を保持する~~ ~~2024/10/28追加~~

~~変数.出荷日時 ← 送り状テーブル.出荷日時~~ ~~2024/10/28追加~~

~~変数.No ← 送り状テーブル.No~~ ~~2024/10/28追加~~

~~2024/10/28追加~~

~~③-2 送り状テーブルに仕切情報を更新する(UPDATE)~~ ~~2024/10/28追加~~

~~更新テーブル~~	~~送り状テーブル~~		~~2024/10/28追加~~
~~更新値~~	~~仕切単価~~	~~← 29項目目(仕切単価)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~仕切金額~~	~~← 28項目目(仕切金額)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~販売先~~	~~← 33項目目(注文備考)~~	~~2024/10/28追加~~
	~~予備02~~	~~← 12項目目(等級名) & 14項目目(階級名)~~	~~2024/10/28追加~~
~~更新条件~~	~~出荷日時~~	~~= ③-1で取得した変数.出荷日時~~	~~2024/10/28追加~~
	~~No~~	~~= ③-1で取得した変数.No~~	~~2024/10/28追加~~
			~~2024/10/28追加~~

~~2024/10/28追加~~

~~④次レコードの処理をする~~ ~~2024/10/28追加~~

~~ファイルEOFまで、③データ取得 からを繰り返す~~ ~~2024/10/28追加~~

~~2024/10/28追加~~

~~5. 終了処理~~ ~~2024/10/28追加~~

~~全件更新できた場合は、次のメッセージを表示する~~ ~~「仕切り状データを取り込みました」~~ ~~2024/10/28追加~~

■ ~~PDF発行ボタン押下時~~

■ 出荷報告書発行ボタン押下時

1. 選択チェック

・明細表が未選択の場合は、エラーメッセージを表示する 「選択されていません」

2. ~~市場選択&~~出力単位ダイアログの表示

~~市場選択&~~出力単位ダイアログを表示する

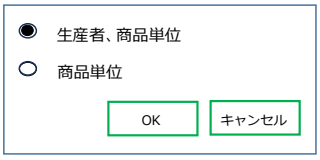
~~・市場選択の作成~~

~~内容は固定値とする~~

~~0：大田市場~~

~~1：なにわ市場~~

~~2：姫路市場~~



・生産者・商品単位をデフォルトチェックとする

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

⇒キャンセルボタン押下時、~~市場選択&出力単位ダイアログを閉じる~~
⇒OKボタン押下時、下記処理を継続する

3. 出荷報告書(印刷)と出荷報告書PDFの出力
~~①メッセージNo.info_1002のダイアログを表示する~~
~~2-1. キャンセルボタン押下時はダイアログを閉じて処理を終了する~~
~~2-2. OKボタン押下時は下記処理を継続する~~

②以下のSQLを実行し、選択された行の詳細情報を取得する

参照テーブル	送り状テーブル		
取得項目	生産者		
	MAX(出荷市場名)	AS 出荷市場名	
	品名		
	品種名		
	等階級		
	入数		
	MAX(箱数)	AS 箱数	
	入数 × 箱数	AS 総本数	
	MAX(梱包数)	AS 梱包数	
	MAX(注文区分)		
	MAX(備考)		
抽出条件	出荷日時	=	選択行.出荷日時(非表示)
集計条件	出荷市場コード		
	出荷日時		
	生産者		
	品名		
	品種名		
	等階級		
	入数		
ソート	A.生産者(昇順)、A.出荷市場(昇順)、A.出荷年月日(昇順)、A.送り状NO(昇順)		

⇒データが存在しない場合は、処理終了
⇒データが存在する場合は、下記処理を実施

下記項目転送に従い、出荷報告書PDFを出力する。~~※ファイル設計については、別紙：【ファイル仕様書】を参照~~

ファイル名	出荷報告書_yyyymmddhhMMss.pdf		
出力項目	<ヘッダ>		
	出荷市場名	←	送り状テーブル.出荷市場名
	箱数合計	←	送り状テーブル.箱数の合計
	本数合計	←	送り状テーブル.総本数の合計
	梱包数	←	送り状テーブル.梱包数
	生産者	←	AppSetting.出荷者名
	生産者住所	←	AppSetting.生産者住所
	生産者携帯	←	AppSetting.生産者携帯
	生産者FAX	←	AppSetting.生産者FAX
	<明細>		
	生産者（品名に出力）	←	生産者、商品単位別の場合のみ、送り状テーブル.生産者
	品名	←	送り状テーブル.品名
	品種名	←	送り状テーブル.品種名
	等階級	←	送り状テーブル.等階級
	入数	←	送り状テーブル.入数
	箱数	←	送り状テーブル.箱数
	総本数	←	送り状テーブル.総本数
	注文区分	←	送り状テーブル.注文区分
	備考	←	送り状テーブル.備考

2-1 ファイルの出力に失敗した場合はメッセージは出力する 「ファイルの出力に失敗しました」

~~3. ファイル保管ダイアログを表示して保存先を選択させる~~

■ 市場連携出力(csv)ボタン押下時
1. 選択チェック
・明細表が未選択の場合は、エラーメッセージを表示する 「選択されていません」

2．花きEDIフォーマット準拠のCSVを出力する
① 選択された行の詳細情報を取得する
下記SQLを実行し、送り状テーブルからデータを取得する

参照テーブル	送り状テーブル		
抽出条件	出荷日時	=	選択行.出荷日時(非表示)
集計条件	出荷市場コード		
	出荷日時		
	生産者		
	品名		
	品種名		
	等階級		
	入数		
	取引区分		
ソート	出荷市場コード(昇順)、生産者(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)、入数(昇順)、取引区分(昇順)		

2025/10/20追加
2025/10/20追加

ファイル保存ダイアログを開き、
ファイル出力フォルダを選択させる。

ファイル名にはデフォルトで、
"送り状_" + 出荷市場 + yyyyMMddHHmmss
を表示する

② 内部Listへ保持
取得した送り状データを一旦内部Listに保持する

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

以下の転送内容に従い、内部Listを作成する

内部List

出荷市場コード ← ①の結果.出荷市場コード
出荷市場名 ← MAX(①の結果.出荷市場名)
出荷日時 ← ①の結果.出荷日時
生産者 ← ①の結果.生産者
品名 ← ①の結果.品名
品種名 ← ①の結果.品種名
等階級 ← ①の結果.等階級
入数 ← ①の結果.入数
口数 ← COUNT(*)
取引区分 ← ①結果.取引区分 2025/10/20追加
取引単価 ← ①結果.MAX(取引単価) 2025/10/20追加
取引単価単位 ← ①結果.MAX(取引単価単位) 2025/10/20追加
取引備考 ← ①結果.MAX(取引備考) 2025/10/20追加
明細識別番号 ← 0固定

内部Listイメージ

出荷市場コード	出荷市場名	生産者	品名	品種名	等階級	入数	口数	取引区分	明細識別番号
[redacted]	大田花き	[redacted]	カーネーション	チアガール	2リン	50	2	0	0
[redacted]	大田花き	[redacted]	カーネーション	チアガール	2リン	100	1	0	0
[redacted]	大田花き	[redacted]	クレマチス	D．エジンバラ	100	10	1	0	0
[redacted]	大田花き	[redacted]	クレマチス	D．エジンバラ	100	10	1	2	0

③ 明細識別番号の採番

内部List1行に対して明細識別番号を採番する

明細識別番号フォーマットは以下とする

~~yyyyMMdd(システム日付) + 999(システム日付内連番) + シーケンス(9桁)(SEQ_MEISAISHIKIBETSU_NUMBERを使用)~~ 2025/10/17削除

※詳細は、「コード体系.xlsx」を参照してください 2025/10/17追加

③-1 値の取得 2025/10/17追加

以下の値をAppSettingから取得する 2025/10/17追加

・AppSetting.PublisherCode 2025/10/17追加

・AppSetting.ProducerIdentifier 2025/10/17追加

③-2 シーケンスの採番 2025/10/17追加

SEQ_MEISAISHIKIBETSU_NUMBERから連番を採番 2025/10/17追加

採番された値は6桁になるように前0パティングする 2025/10/17追加

③-3 明細識別番号の作成 2025/10/17追加

以下の文字列結合で明細識別番号を作成する 2025/10/17追加

システム日付(yyyyMMdd) + ③-2で採番したSEQ + ③-1で取得したAppSetting.PublisherCode + ③-1で取得したAppSetting.ProducerIdentifier 2025/10/17追加

【例】 2025/10/17追加

20251016000001KGWISH 2025/10/17追加

③-4 内部Listに更新 2025/10/17追加

対象行の明細識別番号列に上記で作成した明細識別番号を更新する 2025/10/17追加

内部Listイメージ

出荷市場コード	出荷市場名	生産者	品名	品種名	等階級	入数	口数	取引区分	明細識別番号
[redacted]	大田花き	[redacted]	カーネーション	チアガール	2リン	50	2	0	20241004001000000001
[redacted]	大田花き	[redacted]	カーネーション	チアガール	2リン	100	1	0	20241004002000000002
[redacted]	大田花き	[redacted]	クレマチス	D．エジンバラ	100	10	1	0	20241004003000000003
[redacted]	大田花き	[redacted]	クレマチス	D．エジンバラ	100	10	1	2	20241004003000000004

④ CSV出力

内部Listの内容をCSV出力する

但し、出荷市場コードが異なるデータは別CSVとして出力する ※ファイルフォーマットは「edi_format12.pdf」を参照

○出力先フォルダは、設定ファイル.CSV出力フォルダとする

○ファイル名は「送り状_(内部List.出荷市場名)_yyyyMMddHHmmss.csv」とする

・以下の転送内容に従い、CSVファイルを作成する

<ヘッダ>

メッセージ種別 2 固定(出荷情報)
レコード種別 1 固定(ヘッダ)
メッセージバージョン 12 固定
メッセージ取扱種別 0 固定(通常)
出荷日 システム日付
送り状番号 空文字
元出荷日 空文字
元送り状番号 空文字
商品区分 0 固定(切り花)
代表品目名 空文字
販売日 内部List.出荷年月日 + 2日
卸売会社コード1 内部List.出荷市場コード
卸売会社コード2 空文字
卸売り会社名 内部List.出荷市場名 ※ダブルクォーテーションエスケープする
県連コード 空文字
農協コード 空文字
出荷者コード AppSetting.電話番号

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

出荷者名	AppSetting.出荷者	
出荷情報備考	空文字	
予備	空文字	
改行	CRLF	

○前レコード(1件目を除く).内部List.出荷市場コード = 現レコード.内部List.出荷市場コードの場合は、ボディ項目を出力する
異なる場合は、トレーラ項目を出力し、新たなファイルを作成、ヘッダ項目から出力する

<ボディ>

メッセージ種別	2 固定(出荷情報)	
レコード種別	2 固定(明細)	
明細レコード番号	明細毎にシステム側で採番	
荷印	空文字	
形態コード	空文字	
形態名	空文字	
品目コード	空文字	
~~品目名~~	~~空文字~~	2025/1/28変更
~~品目名~~	~~内部List.品種名(30バイト以上の場合は、後ろを切り捨てる) ※ダブルクォーテーションエスケープする~~	2025/1/28変更
~~品目名~~	~~内部List.品名(50バイト以上の場合は、後ろを切り捨てる ※ダブルクォーテーションエスケープする~~	~~2025/2/7変更~~
品目名	内部List.品名(30バイト以上の場合は、後ろを切り捨てる ※ダブルクォーテーションエスケープする	2025/10/3変更
品種コード	空文字	
~~商品名~~	~~内部List.品名(50バイト以上の場合は、後ろを切り捨てる ※ダブルクォーテーションエスケープする~~	
~~商品名~~	~~内部List.品種名(30バイト以上の場合は、後ろを切り捨てる) ※ダブルクォーテーションエスケープする~~	~~2025/2/7変更~~
商品名	内部List.品名 + 内部List.品種名(30バイト以上の場合は、後ろを切り捨てる) ※ダブルクォーテーションエスケープする	2025/10/3変更
等級コード	空文字	
~~等級名~~	~~空文字~~	2025/1/28変更
等級名	内部List.等階級(20バイト以上の場合は、後ろを切り捨てる) ※ダブルクォーテーションエスケープする	2025/1/28変更
階級コード	空文字	
階級名	空文字	
原産地コード	空文字	
原産地名	空文字	
鉢サイズ	空文字	
輪数	空文字	
立本数	空文字	
入数	内部List.入数	
口数	内部List.口数 ※符号付	
数量	内部List.口数 × 内部List.入数 ※符号付	
鉢種備考	空文字	
仕立備考	空文字	
荷姿備考	空文字	
商品備考	空文字	
~~取引区分~~	~~0 固定(委託)~~	2025/10/20削除
取引区分	内部List.取引区分	2025/10/20追加
買付単価	空文字	
買付単価単位	空文字	
~~注文単価~~	~~空文字~~	2025/10/20削除
注文単価	内部List.取引単価	2025/10/20追加
~~注文単価単位~~	~~空文字~~	2025/10/20削除
注文単価単位	内部List.取引単価単位	2025/10/20追加
~~注文備考~~	~~空文字~~	2025/10/20削除
注文備考	内部List.取引備考	2025/10/20追加
卸売会社品目コード	空文字	
卸売会社品種コード	空文字	
卸売会社等級コード	空文字	
卸売会社階級コード	空文字	
卸売会社原産地コード	空文字	
出荷者品目コード	空文字	
出荷者品種コード	空文字	
出荷者等級コード	空文字	
出荷者階級コード	空文字	
出荷者原産地コード	空文字	
予備	空文字	
明細識別番号	内部List.明細識別番号	
出荷予定データ送信フラグ	空文字	
小数点付買付単価	空文字	
小数点付注文単価	空文字	
販売希望単価	空文字	
原産地情報	空文字	
商品注釈	空文字	
表示用コメント	空文字	
単位備考	空文字	
改行	CRLF	

<トレーラ>

メッセージ種別	2 固定(出荷情報)
レコード種別	3 固定(トレーラ)
梱包数計	空文字
口数計	空文字
数量計	空文字
予備	空文字
改行	CRLF

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

⑤ 明細識別番号の更新
内部List上に採番した明細識別番号は、送り状テーブルに更新する（内部Listに存在するレコード全てを処理する）

以下の条件で送り状テーブルを更新する

更新テーブル	送り状テーブル		
更新内容	明細識別番号	←	内部List.明細識別番号
更新条件	出荷市場コード	=	内部List.出荷市場コード
	出荷日時	=	内部List.出荷日時
	生産者	=	内部List.生産者
	品名	=	内部List.品名
	品種名	=	内部List.品種名
	等階級	=	内部List.等階級
	入数	=	内部List.入数

3. MPSジャパン連携ファイル（CSV)の出力 2025/10/17追加
市場連携ファイルの出力と同時にMPSジャパン連携ファイルも同時に出力する 2025/10/17追加

①下記SQLを実行し、送り状テーブルからMPS連携データを取得する 2025/10/17追加

参照テーブル	送り状テーブル		
抽出条件	出荷日時	=	選択行.出荷日時(非表示)
ソート	出荷市場コード(昇順)、生産者(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)、入数(昇順)		

2025/10/17追加
2025/10/17追加
2025/10/17追加
2025/10/17追加

②MPS連携ファイルの出力 2025/10/17追加
※ファイル仕様書(MPS連携ファイル）を参照してください 2025/10/17追加
取得データ全てを出力する 2025/10/17追加

ファイル名："MPSジャパン連携_"(固定) ＋ システム日付(yyyyMMddHHmmss) ＋ .csv 2025/10/17追加
フォルダ：市場連携ファイルを出力した同じフォルダ 2025/10/17追加

下記に従ってCSVファイルを出力する 2025/10/17追加
明細識別番号 ← 送り状テーブル.明細識別番号 2025/10/17追加
ラベルNo ← 送り状テーブル.ラベルNo 2025/10/17追加

4. 終了処理
処理が正常に終了した場合は、メッセージを出力する 「送り状ファイル、MPS連携ファイルを出力しました」 2025/10/17変更

■ 行をダブルクリック時
選択行の情報を引数にして、送り状詳細画面に遷移する

■ 送り状削除ボタン押下時
①チェック
・選択行が1行も存在しない場合は、エラーメッセージを表示する 「削除する送り状データが選択されていません」

②警告メッセージ
・削除前に警告メッセージを２回表示する
②-1 1回目のメッセージを表示 「選択されている送り状データを削除します。
よろしいですか？」

⇒いいえの場合、メッセージダイアログを閉じる
⇒はいの場合、2回目の警告メッセージを表示する 「本当によろしいですか？
データを元に戻すことはできません」

⇒いいえの場合、メッセージダイアログを閉じる
⇒はいの場合、以下の処理を実行する

③テーブルデータ削除
下記SQLを実行し、送り状データを実削除する

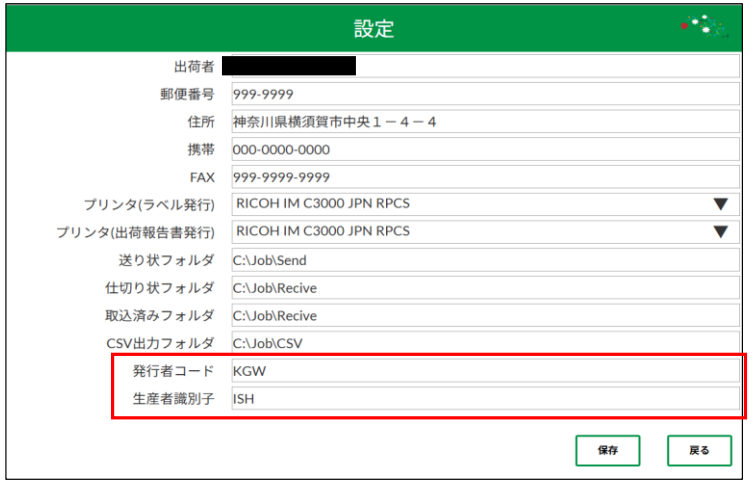
削除テーブル	送り状テーブル		
削除条件	出荷日時	=	画面.出荷日時(非表示)※選択されている行

⇒削除に失敗した場合は、エラーメッセージを表示しロールバックする 「送り状データの削除に失敗しました。
再度削除指示してください」

⇒削除に成功した場合は、メッセージを表示する 「送り状データを削除しました」

■ 戻るボタン押下時
メニューに遷移する

画面仕様	画面名	PC設定
	機能	
	画面ID	



内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
出荷者		テキスト	AppSetting.Shipper	
郵便番号		テキスト	AppSetting.ZipCode	
住所		テキスト	AppSetting.Address	
携帯		テキスト	AppSetting.Mobile	
FAX		テキスト	AppSetting.Fax	
プリンタ(ラベル発行)		コンボボックス		Windowsプリンタ設定に存在するプリンタ名を全て表示
プリンタ(出荷報告書発行)		コンボボックス		Windowsプリンタ設定に存在するプリンタ名を全て表示
送り状フォルダ		テキスト	AppSetting.InvoiceImportPath	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**
仕切り状フォルダ		テキスト	AppSetting.BillImportPath	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**
取込済みフォルダ		テキスト	AppSetting.ImportedPath	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**
CSV出力フォルダ		テキスト	AppSetting.ReportExportPath	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**
発行者コード		テキスト	AppSetting.PublisherCode	2025/10/16追加
生産者識別子		テキスト	AppSetting.ProducerIdentifier	2025/10/16追加

主な機能

- 設定値を登録、保存する(AppSetting)

画面仕様	画面名	PC設定
	機能	
	画面ID	

基本動作

- 画面表示時

  AppSettingファイルから値を取得し、表示する

  ※画面項目説明を参照

- 戻るボタン押下時

  設定ダイアログ画面を閉じる

- 保存ボタン押下時処理

  以下の転送内容に従いAppSetting.xmlへ保存する

AppSetting.Invoice.Shipper	← 画面.出荷者		
AppSetting.Invoice.ZipCode	← 画面.郵便番号		
AppSetting.Invoice.Address	← 画面.住所		
AppSetting.Invoice.Mobile	← 画面.携帯		
AppSetting.Invoice.Fax	← 画面.FAX		
AppSetting.Report.LabelPrinterName	← 画面.プリンタ(ラベル発行)		
AppSetting.Report.InvoicePrinterName	← 画面.プリンタ(出荷報告書発行)		
AppSetting.General.InvoiceImportPath	← 画面.送り状フォルダ	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**	
AppSetting.General.BillImportPath	← 画面.仕切り状フォルダ	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**	
AppSetting.General.ReportExportPath	← 画面.CSV出力フォルダ	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**	
AppSetting.General.ImportedPath	← 画面.取込済フォルダ	**※ユーザーがファイル指定をするように変更したため未使用**	
AppSetting.PublisherCode	← 画面.発行者コード		2025/10/16追加
AppSetting.ProducerIdentifier	← 画面.生産者識別子		2025/10/16追加

画面仕様	画面名	PC設定
	機能	
	画面ID	

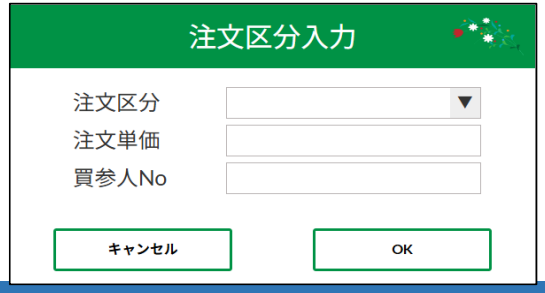
● 設定ファイルの内容

カテゴリ	項目		備考
General	LogPreserveDay	ログファイル保存日数	
	DeviceID	ラベル発行時に利用するデバイスID	
	LabelIssueDate	ラベル発行時に利用する出荷日時	ラベル発行時にアプリが更新
	LabelNo	ラベル発行時に利用するラベル番号	ラベル発行時にアプリが更新
	PrintQty	商品一覧画面の発行数のデフォルト値	
	InvoiceImportPath	未使用	設定画面で更新
	BillImportPath	未使用	設定画面で更新
	ReportExportPath	未使用	設定画面で更新
	ImportedPath	未使用	設定画面で更新
	ImportedProductDir	商品マスタ取込でユーザーが選択したディレクトリ	商品マスタ取込時にアプリが更新
	ImportedBillDir	仕切り状取込でユーザーが選択したディレクトリ	仕切り状取込時にアプリが更新
	ExportedProductDir	商品マスタ出力でユーザーが選択したディレクトリ	商品マスタ出力時にアプリが更新
	ExportedEdiDir	市場連携ファイル出力でユーザーが選択したディレクトリ	市場連携ファイル出力時にアプリが更新
	ExportIssueConfirmDir	ラベル発行確認ファイル出力でユーザーが選択したディレクトリ	ラベル発行確認ファイル出力時にアプリが更新
SqlServer	ServerName	DBのサーバ名	
	DatabaseName	データベース名	
	UserName	DBのユーザ名	
	Password	DBのパスワード	
Report	LabelPrinterName	ラベル発行するプリンタドライバ名	設定画面で更新
	LabelOutputPath	レーザープリンタでラベル発行した場合のみPDFファイルを作成するフォルダ	
	LabelPrint	True = ラベルをプリンタで発行する/False = 発行しない	
	LabelPrinterPrefix	ラベルプリンタの接頭辞。ラベル or レーザープリンタの判定に使用する。 プリンタドライバの始まりが、この値の場合はラベルプリンタで印刷する。	
	InvoicePrinterName	出荷報告書を発行するプリンタドライバ名	設定画面で更新
	InvoiceOutputPath	発行した出荷報告書のPDFファイルを作成するフォルダ	
	InvoicePrint	True = 出荷報告書をプリンタで発行する/False = 発行しない	
	PdfPreserveDay	PDFファイル保存日数	
	Grouping	出荷報告書発行の集計種別の保存。0=生産者・商品単位、1=商品単位	出荷報告書出力時にアプリが更新
Invoice	Shipper	出荷者	設定画面で更新
	ZipCode	郵便番号	設定画面で更新
	Address	住所	設定画面で更新
	Mobile	電話番号	設定画面で更新
	Fax	FAX番号	設定画面で更新
	PublisherCode	発行者コード	設定画面で更新 2025/10/16追加
	ProducerIdentifier	生産者識別子	設定画面で更新 2025/10/16追加
BHTLink	LicenceCode	BHtLinkのライセンス番号	
IssueHistory	LimitRow	発行履歴確認画面の制限行数	
ItemMasterMaintenance	DefaultProducer	商品マスタ新規登録時の初期値として表示する生産者名	商品マスタ追加時にアプリが更新

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2023/9/22	[redacted]	詳細設計	新規作成
2024/10/18	[redacted]	機能概要	画面貼替、項目説明追加
2024/10/18	[redacted]	詳細設計	転送項目の変更。タイトルの変更
2024/10/28	[redacted]	詳細設計	画面表示データ取得SQLの変更
2024/11/12	[redacted]	詳細設計	詳細データ取得方法を変更
2025/9/11	[redacted]	詳細設計	画面ヘッダ.仕切状項目を削除。入数の変更を可能にする
2025/9/17	[redacted]	機能概要	明細(単価、金額、販売先）削除。明細（ラベルNo、明細識別番号）追加
2025/9/25	[redacted]	詳細設計	内容変更で等階級も変更を可能とする

画面仕様	画面名	送り状詳細
	機能	
	画面ID	



内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
■送り状詳細				
ヘッダ				
出荷市場		ラベル		
送り状NO		ラベル		
出荷年月日		ラベル		
口数		ラベル		
輸送会社		ラベル		
輸送手段 ⇒ 梱包数		ラベル		タイトルを梱包数に変更　2024/10/18変更
~~仕切り状~~		~~ラベル~~		2025/9/11削除
明細				
生産者		ラベル		
品名		グリッド		
品種名		グリッド		

画面仕様	画面名	送り状詳細
	機能	
	画面ID	

等階級		グリッド		
入数		グリッド		
箱数		グリッド		
総本数		グリッド		
~~単価~~		~~グリッド~~		2025/9/17削除
~~金額~~		~~グリッド~~		2025/9/17削除
~~販売先~~		~~グリッド~~		2025/9/17削除
注文区分		グリッド		
備考		グリッド		
取引区分		グリッド		2025/10/1追加
ラベルNo		グリッド		2025/9/17追加
明細識別番号		グリッド		入っている場合は市場連携CSV出力後 2025/9/17追加
予備１		グリッド		
予備２		グリッド		
予備３		グリッド		
予備４		グリッド		
予備５		グリッド		
予備６		グリッド		
予備７		グリッド		
予備８		グリッド		
予備９		グリッド		
予備１０		グリッド		
内容変更		ボタン		2025/9/11追加
戻る		ボタン		
■内容変更ダイアログ				
品名		ラベル		前画面で選択された品名 2025/9/11追加
品種名		ラベル		前画面で選択された品種名 2025/9/11追加
等階級：現在		ラベル		2025/9/25追加
等階級：変更後		テキストボックス		2025/9/25追加
入数：現在		ラベル		前画面で選択された入数 2025/9/11追加
入数：変更後		テキストボックス		前画面で選択された入数 2025/9/11追加
OK		ボタン		変更を確定する 2025/9/11追加
キャンセル		ボタン		ダイアログを閉じる 2025/9/11追加
■注文区分入力ダイアログ				
注文区分		テキストボックス		委託・注文を選択させる 2025/10/1追加
注文単価	7	テキストボックス	0~9の数字のみ入力可	1本あたりの単価を入力させる 2025/10/1追加
買参人No	20	テキストボックス		買参人Noを入力させる 2025/10/1追加
OK		ボタン		変更を確定する 2025/9/11追加
キャンセル		ボタン		ダイアログを閉じる 2025/9/11追加

画面仕様	画面名	送り状詳細
	機能	
	画面ID	

主な機能

● 送り状データの詳細を表示する画面。

基本動作

●画面処理表示時
送り状画面で選択した行データを転記
送り状画面で選択された送り状テーブルを検索キー：送り状発行日付で取得したレコードを一覧で表示する

●内容変更押下時 2025/9/11追加
内容変更ダイアログ画面を開く 2025/9/11追加

●注文区分押下時 2025/10/1追加
注文区分ダイアログ画面を開く 2025/10/1追加

●戻るボタン押下時
送り状画面へ遷移する

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. パラメータの取得

前画面からのパラメータを取得する

選択行情報

2. 送り状テーブルの参照

~~送り状テーブル上は仕切り状更新前と仕切り状更新後の２パターンの状態がある為、~~ 2025/9/17削除

~~仕切り状更新後データを取得後、仕切り状更新前データを所得し、どちらのデータ取得にも取得できてしまうデータは~~ 2025/9/17削除

~~仕切り状更新後データを優先する~~ 2025/9/17削除

①仕切り状更新後データの取得

~~以下のSQLを実行し、選択された行の詳細情報を取得する~~

~~参照テーブル~~	~~送り状テーブル~~			~~2024/10/28変更~~
~~取得項目~~	~~生産者~~			~~2024/10/28変更~~
	~~品名~~			~~2024/10/28変更~~
	~~品種名~~			~~2024/10/28変更~~
	~~等階級~~			~~2024/10/28変更~~
	~~入数~~			~~2024/10/28変更~~
	~~COUNT(箱数)~~		~~箱数~~	~~2024/10/28変更~~
	~~入数×COUNT(箱数)~~		~~総本数~~	~~2024/10/28変更~~
	~~AVG(単価)~~	~~※整数で丸める~~	~~単価~~	~~2024/10/28変更~~
	~~AVG(金額)~~	~~※整数で丸める~~	~~金額~~	~~2024/10/28変更~~
	~~STRING_AGG(CONVERT(VARCHAR(max),販売先),",")~~		~~販売先~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(注文区分)~~		~~注文区分~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(グループ名)~~		~~グループ名~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備02)~~		~~予備02~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備03)~~		~~予備03~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備04)~~		~~予備04~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備05)~~		~~予備05~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備06)~~		~~予備06~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備07)~~		~~予備07~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備08)~~		~~予備08~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備09)~~		~~予備09~~	~~2024/10/28変更~~
	~~MAX(予備10)~~		~~予備10~~	~~2024/10/28変更~~
~~抽出条件~~	~~出荷日時~~	~~＝ パラメータ.出荷日時~~		~~2024/10/28変更~~
	~~金額~~	~~<> 0~~		~~2024/10/28変更~~
~~集計条件~~	~~出荷市場名~~			~~2024/10/28変更~~
	~~生産者~~			~~2024/10/28変更~~
	~~品名~~			~~2024/10/28変更~~
	~~品種名~~			~~2024/10/28変更~~
	~~等階級~~			~~2024/10/28変更~~
	~~入数~~			~~2024/10/28変更~~
~~ソート~~	~~生産者名(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)~~			~~2024/10/28変更~~

~~⇒データが存在しない場合、②仕切り状更新前データの取得処理を処理する~~

~~⇒データが存在する場合、以下の転送内容に従い、内部Listに保持する(複数件の可能性あり)~~

~~内部List.生産者~~	~~← 送り状テーブル.生産者~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.品名~~	~~← 送り状テーブル.品名~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.品種名~~	~~← 送り状テーブル.品種名~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.等階級~~	~~← 送り状テーブル.等階級~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.入数~~	~~← 送り状テーブル.入数~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.箱数~~	~~← 送り状テーブル.箱数~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.総本数~~	~~← 送り状テーブル.総本数~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.単価~~	~~← 送り状テーブル.単価~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.金額~~	~~← 送り状テーブル.金額~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.販売先~~	~~← 送り状テーブル.販売先~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.注文区分~~	~~← 送り状テーブル.注文区分~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.備考~~	~~← 送り状テーブル.備考~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.グループ名~~	~~← 送り状テーブル.グループ名~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備２~~	~~← 送り状テーブル.備考2~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備３~~	~~← 送り状テーブル.備考3~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備４~~	~~← 送り状テーブル.備考4~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備５~~	~~← 送り状テーブル.備考5~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備６~~	~~← 送り状テーブル.備考6~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備７~~	~~← 送り状テーブル.備考7~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備８~~	~~← 送り状テーブル.備考8~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備９~~	~~← 送り状テーブル.備考9~~	~~2024/11/12追加~~
~~内部List.予備１０~~	~~← 送り状テーブル.備考10~~	~~2024/11/12追加~~

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

~~②仕切り状更新前データの取得~~

~~以下のSQLを実行し、選択された行の詳細情報を取得する~~

~~参照テーブル~~	~~送り状テーブル~~			~~2024/11/12追加~~
~~取得項目~~	~~生産者~~			~~2024/11/12追加~~
	~~品名~~			~~2024/11/12追加~~
	~~品種名~~			~~2024/11/12追加~~
	~~等階級~~			~~2024/11/12追加~~
	~~入数~~			~~2024/11/12追加~~
	~~COUNT(箱数)~~		~~箱数~~	~~2024/11/12追加~~
	~~入数 × COUNT(箱数)~~		~~総本数~~	~~2024/11/12追加~~
	~~0~~		~~単価~~	~~2024/11/12追加~~
	~~0~~		~~金額~~	~~2024/11/12追加~~
	~~""~~		~~販売先~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(注文区分)~~		~~注文区分~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(グループ名)~~		~~グループ名~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備02)~~		~~予備02~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備03)~~		~~予備03~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備04)~~		~~予備04~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備05)~~		~~予備05~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備06)~~		~~予備06~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備07)~~		~~予備07~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備08)~~		~~予備08~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備09)~~		~~予備09~~	~~2024/11/12追加~~
	~~MAX(予備10)~~		~~予備10~~	~~2024/11/12追加~~
~~抽出条件~~	~~出荷日時~~	~~=~~ ~~パラメータ.出荷日時~~		~~2024/11/12追加~~
	~~金額~~	~~=~~ ~~0~~		~~2024/11/12追加~~
~~集計条件~~	~~出荷市場名~~			~~2024/11/12追加~~
	~~生産者~~			~~2024/11/12追加~~
	~~品名~~			~~2024/11/12追加~~
	~~品種名~~			~~2024/11/12追加~~
	~~等階級~~			~~2024/11/12追加~~
	~~入数~~			~~2024/11/12追加~~
~~ソート~~	~~生産者名(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)~~			~~2024/11/12追加~~

~~⇒データが存在しない場合、③データ有無の判断処理を実行する~~ ~~2024/11/12追加~~

~~⇒データが存在する場合、以下の転送内容に従い、上記で作成した内部Listに同項目が存在するかを判断し、~~ ~~2024/11/12追加~~

~~存在する場合は読み飛ばす。存在しない場合は内部Listに保持する。※内部Listが存在しない場合は全件保持~~ ~~2024/11/12追加~~

~~2024/11/12追加~~

~~← 内部List.出荷市場名 = 送り状テーブル.出荷市場名~~ ~~2024/11/12追加~~

~~内部List.生産者 = 送り状テーブル.生産者~~ ~~2024/11/12追加~~

~~内部List.品名 = 送り状テーブル.品名~~ ~~2024/11/12追加~~

~~内部List.品種名 = 送り状テーブル.品種名~~ ~~2024/11/12追加~~

~~内部List.等階級 = 送り状テーブル.等階級~~ ~~2024/11/12追加~~

~~内部List.入数 = 送り状テーブル.入数~~ ~~2024/11/12追加~~

~~⇒一致するデータが存在する場合、次レコードを処理する~~ ~~2024/11/12追加~~

~~⇒一致するデータが存在しない場合は、内部Listに保持（転送内容は①を参照）~~ ~~2024/11/12追加~~

▼▼▼フェーズ3対応箇所です▼▼▼

①送り状詳細データの取得

以下のSQLを実行し、選択された行の詳細情報を取得する

参照テーブル	送り状テーブル		2025/9/17削除
抽出条件	出荷日時	= パラメータ.出荷日時	
ソート	生産者名(昇順)、品名(昇順)、品種名(昇順)、等階級(昇順)		

⇒データが存在しない場合、メッセージを表示し前画面に戻る 「詳細データが存在しません。取り込んだ送り状データを確認してください」

⇒データが存在する場合、以下の転送内容に従い、画面表示する

①-1 画面転記

送り状テーブルから取得した内容を画面表示する

<ヘッダ>

出荷市場 ← パラメータ.選択行情報.出荷市場

送り状NO ← パラメータ.選択行情報.送り状No

口数 ← パラメータ.選択行情報.口数

輸送会社 ← パラメータ.選択行情報.輸送会社

梱包数 ← パラメータ.選択行情報.梱包数

~~仕切り状 ← パラメータ.選択行情報.仕切り状~~ 2025/9/11削除

<明細>

選択チェック ← 未チェック

生産者 ← 送り状テーブル.生産者

品名 ← 送り状テーブル.品名

品種名 ← 送り状テーブル.品種名

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

等階級		← 送り状テーブル.等階級	
入数		← 送り状テーブル.入数	
箱数		← 送り状テーブル.箱数	
総本数		← 送り状テーブル.総本数	
単価		←	2025/9/11削除
金額		←	2025/9/11削除
販売先		←	2025/9/11削除
注文区分		← 送り状テーブル.注文区分	
備考		← 送り状テーブル.備考	
取引区分		← 送り状テーブル.取引区分 = "0"　の場合、「委託」	2025/10/1追加
		← 送り状テーブル.取引区分 = "2"　の場合、「注文」	2025/10/1追加
		※上記どちらでもない場合は、空文字	2025/10/1追加
ラベルNo		← 送り状テーブル.ラベルNo	2025/9/17追加
明細識別番号		← 送り状テーブル.明細識別番号	2025/9/17追加
グループ名		← 送り状テーブル.グループ名	
予備２		← 送り状テーブル.予備２	
予備３		← 送り状テーブル.予備３	
予備４		← 送り状テーブル.予備４	
予備５		← 送り状テーブル.予備５	
予備６		← 送り状テーブル.予備６	
予備７		← 送り状テーブル.予備７	
予備８		← 送り状テーブル.予備８	
予備９		← 送り状テーブル.予備９	
予備１０		← 送り状テーブル.予備１０	
No	(非表示)	← 送り状テーブル.No	
取引区分	(非表示)	← 送り状テーブル.取引区分	
取引単価	(非表示)	← 送り状テーブル.取引単価	
取引備考	(非表示)	← 送り状テーブル.取引備考	

②明細モード　2025/9/11追加

明細は「行選択モード」(1行選択モード(複数選択不可))にする　2025/9/11追加

■ 内容変更ボタン押下　2025/9/11追加

①行選択チェック　2025/9/11追加

・'明細行が一行も選択されていない場合、メッセージを表示する　「明細行が選択されていません。入数変更するデータを選択して下さい」　2025/9/11追加

・'明細行が2行以上選択されている場合、メッセージを表示する　「内容変更できる行は１行づつです。選択行を1行にしてください」　2025/9/11追加

②画面表示　2025/9/11追加

内容変更ダイアログを表示し、以下の項目転送に従って画面表示する　2025/9/11追加

・品名　← 選択行.品名　2025/9/11追加

・品種名　← 選択行.品種名　2025/9/11追加

・等階級:現在　← "等階級：" + 選択行.等階級　2025/9/25追加

・等階級:変更後　← 選択行.等階級　2025/9/25追加

・入数:現在　← "入数：" + 選択行.入数　2025/9/11追加

・入数:変更後　← 選択行.入数　2025/9/11追加

・箱数(非表示)　← 選択行.箱数　2025/9/11追加

③キャンセルボタン押下　2025/9/11追加

等階級、入数変更を実施しない旨のメッセージを表示する　「等階級・入数は変更されません。よろしいですか？」　2025/9/11追加

⇒OK：画面を閉じる　2025/9/11追加

⇒キャンセル：画面にとどまる　2025/9/11追加

④OKボタン押下　2025/9/11追加

④-1 入数のチェック　2025/9/11追加

・変更後の入数 = ""　の場合はメッセージを表示する　「入数が入力されていません。入数を入力してください」　2025/9/11追加

・変更後の入数 = 0　の場合はメッセージを表示する　「入数が入力されていません。入数を入力してください」　2025/9/11追加

等階級のチェック　2025/9/11追加

・変更後の等階級 = ""　の場合はメッセージを表示する　「等階級が入力されていません。等階級を入力してください」　2025/9/11追加

④-2 入数の変更　2025/9/11追加

等階級・入数変更を実施する旨のメッセージを表示する　「入力内容を変更します。よろしいですか？」　2025/9/11追加

⇒キャンセルの場合、画面にとどまる　2025/9/11追加

⇒OKの場合、送り状データを下記に従って変更する　2025/9/11追加

更新テーブル	送り状テーブル		2025/9/11追加
更新内容	入数	← 画面.入数:変更後	2025/9/11追加
	総本数	← 画面.箱数(非表示) × 画面.入数:変更後	2025/9/11追加
	等階級	← 画面.等階級	2025/9/11追加
更新条件	出荷日時	= パラメータ.出荷日時	2025/9/11追加
	No	= 画面.明細.No（非表示）	2025/9/11追加

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

④-3 終了処理 2025/9/11追加

正常終了した場合は、ダイアログを閉じてメッセージを表示する 「入力内容を変更しました。」 2025/9/11追加

画面表示時の処理をし画面をリフレッシュする

■ 注文区分ボタン押下 2025/9/11追加

①選択チェック 2025/9/11追加

・'選択チェックボックスが一つも選択されていない場合、メッセージを表示する 「選択チェックボックスが選択されていません。注文区分を変更するデータを選択して下さい」

②画面表示 2025/9/11追加

注文区分ダイアログを表示し、以下の項目転送に従って画面表示する 2025/9/11追加

②-1 ドロップダウンリストの作成

ドロップダウンリストは固定で表示する

キー	値(表示内容)	
0	委託	
2	注文	※1行目の空白行は不必要

②-2 画面表示

下記の画面転送仕様に従って画面表示する 2025/9/11追加

・注文区分 ← (非表示) 取引区分 2025/9/11追加

・注文単価 ← (非表示) 取引単価 2025/9/11追加

・買参人No ← (非表示) 取引備考 2025/9/25追加

●注文区分 = "委託" 選択時

・注文単価を非活性

・買参人Noを非活性

●注文区分 = "注文" 選択時

・注文単価を活性

・買参人Noを活性

2025/9/25追加

②-3 画面制御

・注文区分変更時、入力項目を制御する

●注文区分 = "委託" 選択時

・注文単価を非活性

・買参人Noを非活性

●注文区分 = "注文" 選択時

・注文単価を活性

・買参人Noを活性

③キャンセルボタン押下 2025/9/11追加

注文入力を登録しない旨のメッセージを表示する 「注文登録はされません。よろしいですか？」 2025/9/11追加

⇒OK：画面を閉じる 2025/9/11追加

⇒キャンセル：画面にとどまる 2025/9/11追加

④OKボタン押下 2025/9/11追加

④-1 取引情報の変更 2025/9/11追加

注文登録する旨のメッセージを表示する 「注文登録します。よろしいですか？」 2025/9/11追加

⇒キャンセル：画面にとどまる 2025/9/11追加

⇒OKの場合、送り状データを下記に従って変更する 2025/9/11追加

※画面で複数件チェックされている可能性があるため、チェック行を1行づつ更新する。チェック行分下記更新SQLを実行する

更新テーブル	送り状テーブル		2025/9/11追加
更新内容	取引区分	← 画面.注文区分(キー)	2025/9/11追加
	取引単価	← 画面.注文単価	2025/9/11追加
	取引単価単位	← 1固定	2025/9/11追加
	取引備考	← 画面.買参人No	2025/9/11追加
更新条件	出荷日時	= パラメータ.出荷日時	2025/9/11追加
	No	= 画面.明細.No（非表示）	2025/9/11追加

④-3 終了処理 2025/9/11追加

正常終了した場合は、ダイアログを閉じてメッセージを表示する 「注文登録しました。」 2025/9/11追加

画面表示時の処理をし画面をリフレッシュする

■ 戻るボタン押下時

送り状一覧画面へ遷移する

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2025/9/12	[redacted]		新規作成
2025/9/25	[redacted]	詳細設計	検索条件に明細識別番号を追加
2025/10/16	[redacted]	詳細設計	明細識別番号を前方一致検索に変更(L50)
2025/12/2	[redacted]	詳細設計	仕切状取込時、同データが存在した場合はDELETEする
2025/12/3	[redacted]	詳細設計	仕切状削除条件を変更。仕切状登録時の登録日時を変更

画面仕様	画面名	仕切状一覧
	機能	
	画面ID	

内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
検索条件エリア				
取込日　（FROM）		デイトピッカー		
取込日　（TO）		デイトピッカー		
出荷市場		コンボボックス		送り状テーブルの出荷市場を集約して表示
明細識別番号	16	テキストボックス		
検索		ボタン		検索条件に指定された内容でテーブルを参照し、一致する内容を一覧表示する
クリア		ボタン		検索条件をクリアする
検索結果一覧				
検索結果件数		ラベル		検索結果件数を表示
出荷市場		ラベル		テーブル内容を表示
販売日		ラベル		テーブル内容を表示
仕切書No		ラベル		テーブル内容を表示
取込日		ラベル		テーブル内容を表示
仕切状取込		ボタン		送り状ファイルを取込む
戻る		ボタン		送り状一覧画面を閉じる

主な機能

画面仕様	画面名	仕切状一覧
	機能	
	画面ID	

- 仕切状CSVを取込み、データ化する
- データ化した仕切状を一覧で表示する
- 明細行をダブルクリックすることで、仕切状詳細画面へ遷移する

基本動作

●画面初期表示時
①検索条件項目をクリア
②コンボボックスの作成（出荷市場）

●検索ボタン押下時
検索条件に指定された内容で仕切状ヘッダテーブルを参照し、一致する内容を一覧表示する
表示順：出荷市場(昇順)、販売日(降順)、仕切書No(昇順)、取込日(降順)

●取込ボタン押下時(仕切状取込)
①ファイル選択ダイアログを表示
②仕切状ファイルを千七九
③選択されたファイル内容をチェック　⇒「選択されたファイルのフォーマットが異なります。」
④正常に取りこまれた場合は確認メッセージを表示　⇒「ファイルを取込みました」

●戻るボタン押下時
メニューへ遷移する

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. データベース接続

設定ファイルから取得した情報でデータベースへ接続する

⇒接続できない場合はエラーメッセージを出力　　「データベースへ接続できません。データベースの状態、ネットワーク環境を確認ください」

2. 以下の画面項目をクリアする

・検索条件

・明細データ

3. 検索条件の作成(ドロップダウンリスト)

①出荷市場ドロップダウンリストの作成

以下のSQLを実行し、出荷市場一覧を取得する

参照テーブル	仕切状ヘッダテーブル
取得項目	MAX(卸売会社名) AS 卸売会社名
集計条件	卸売会社コード1
ソート	卸売会社コード1（昇順）

⇒データが取得できない場合、出荷市場ドロップダウンリストに空白のみセットする

⇒データが取得できる場合、出荷市場ドロップダウンリストにセットする

(卸売会社コード1)(非表示)「卸売会社名」(表示)

※ドロップダウンリストには1行目は空白行（未選択）を設ける

■ 検索ボタン押下時

※明細は、1行選択モードにする

1. 検索実施

下記SQLを実行し、仕切状データを取得する

参照テーブル	仕切状ヘッダテーブル	A			
	仕切状明細テーブル	B			
取得項目	A.卸売会社コード1				
	A.卸売会社名				
	A.販売日				
	A.仕切書番号				
	A.出荷者コード				
	A.出荷者名				
結合条件	A.販売日	=(INNER JOIN)	B.販売日		
	A.取込日	=(INNER JOIN)	B.取込日		
	A.卸売会社コード1	=(INNER JOIN)	B.卸売会社コード1		
	A.出荷者コード	=(INNER JOIN)	B.出荷者コード		
抽出条件	A.卸売会社コード1	=	画面.卸売会社コード1	指定されている時のみ	
	A.取込日	>=	画面.取込日(FROM)	指定されている時のみ	
	A.取込日	<=	画面.取込日(TO)	指定されている時のみ	
	~~B.明細識別番号~~	~~<=~~	~~画面.明細識別番号~~	~~指定されている時のみ~~	2025/10/16変更
	B.明細識別番号	LIKE	画面.明細識別番号 ＋ '%'	指定されている時のみ	※前方一致検索　2025/10/16変更
ソート	A.卸売会社コード1(昇順)、A.販売日(降順)				

⇒一致するデータが存在しない場合は、エラーメッセージを表示する　　「検索条件に一致するデータは存在しませんでした」

⇒一致するデータが存在する場合、下記転送内容に従って画面表示する

卸売会社コード1(非表示)	←	A.卸売会社コード
出荷市場	←	A.卸売会社名
販売日	←	A.販売日
仕切状No	←	A.仕切書番号
取込日	←	A.取込日
出荷者コード(非表示)	←	A.出荷者コード
出荷者名(非表示)	←	A.出荷者名
検索結果件数	←	検索で一致したレコード数

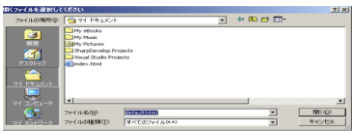
■ クリアボタン押下時

1. 検索項目をクリアする

■ 仕切状取込ボタン押下時

①ファイル選択ダイアログの表示

ファイル選択ダイアログを表示し、取込するファイルを選択させる



②ファイル内容の確認

仕切状ファイルフォーマットについては、edi_format12.pdfを参照すること

(https://office.khwayz.co.jp/svn/20230440toppan/trunk/Project/3回目改修(2025)/100_設計書/110_基本設計/01ファイル定義)

注意点

①文字列の項目はダブルクォーテーションで括られています

②ダブルクォーテーションで括られている中にカンマが入っている可能性があります（安易にSplitしないこと）

選択されたファイルをオープンし、1行目からREADし、EOFまで下記処理を繰り返す

②-1 ヘッダレコードの処理

1.項目数チェック

・2項目名 ＝ 1(ヘッダレコード) の場合は、取得した行の項目数が21項目以外の場合はエラーとし、メッセージを表示する　　「選択されたファイルのヘッダレコードが規定フォーマットと異なります。¥n 正しいファイルを選択してください」

2.項目属性チェック

・1項目目～21項目目の属性がedi_format12と異なる場合はエラーとし、メッセージを表示する　　「ヘッダレコードXX項目目の属性が規定属性と異なります。¥n 正しいファイルを選択してください」

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

※XXはチェックエラーとなった項目

3.項目桁数チェック

・1項目目～21項目目の桁数がedi_format12よりオーバーしている場合はエラーとし、メッセージを表示する

「ヘッダレコードXX項目目の桁数が規定桁数をオーバーしています。¥n
正しいファイルを選択してください」
※XXはチェックエラーとなった項目

4.ヘッダレコードListへ格納

取得した項目を、ヘッダレコードListとして、Listに格納する（edi_format12と同じ形とする）※改行は不必要

②-2 明細レコードの処理

1.項目数チェック

・2項目名 = 2(明細レコード) の場合は、取得した行の項目数が55項目以外の場合はエラーとし、メッセージを表示する

「選択されたファイルの明細レコード(XX行目)が規定フォーマットと異なります。¥n
正しいファイルを選択してください」
※XXはチェックエラーとなった行数（ヘッダを含んだ行数でよい）

2.項目属性チェック

・1項目目～55項目目の属性がedi_format12と異なる場合はエラーとし、メッセージを表示する

「明細レコードXX行目、YY項目目の属性が規定属性と異なります。¥n
正しいファイルを選択してください」
※XXはチェックエラーとなった行数（ヘッダを含んだ行数でよい）
※YYはチェックエラーとなった項目

3.項目桁数チェック

・1項目目～55項目目の桁数がedi_format12よりオーバーしている場合はエラーとし、メッセージを表示する

「明細レコードXX項目目の桁数が規定桁数をオーバーしています。¥n
正しいファイルを選択してください」
※XXはチェックエラーとなった項目

3.明細レコードListへ格納

取得した項目を、明細レコードListとして、Listに格納する（edi_format12と同じ形とする）※改行は不必要

②-3 トレーラレコードの処理

1.項目数チェック

・2項目名 = 3(トレーラレコード) の場合は、取得した行の項目数が18項目以外の場合はエラーとし、メッセージを表示する

「選択されたファイルのトレーラレコードが規定フォーマットと異なります。¥n
正しいファイルを選択してください」

2.項目属性チェック

・1項目目～18項目目がedi_format12と異なる場合はエラーとし、メッセージを表示する

「トレーラレコードXX行目、YY項目目の属性が規定属性と異なります。¥n
正しいファイルを選択してください」
※XXはチェックエラーとなった行数（ヘッダを含んだ行数でよい）
※YYはチェックエラーとなった項目

3.項目桁数チェック

・1項目目～18項目目の桁数がedi_format12よりオーバーしている場合はエラーとし、メッセージを表示する

「トレーラレコードXX項目目の桁数が規定桁数をオーバーしています。¥n
正しいファイルを選択してください」
※XXはチェックエラーとなった項目

3.明細レコードListへ格納

取得した項目を、トレーラレコードListとして、Listに格納する（edi_format12と同じ形とする）※改行は不必要

③データベースへの格納

②で作成した各Listをデータベースへ更新する（INSERTのみ）

・以下の項目は変数に格納しておく（どのテーブルでも同じ値が入ってほしいため）

変数.販売日 ← ヘッダレコードList.販売日
変数.取込日 ← システム日付(yyyyMMdd)
変数.卸売会社コード1 ← ヘッダレコードList.卸売会社コード1
変数.出荷者コード ← ヘッダレコードList.出荷者コード
変数.登録日時 ← SYSTEM日時

・仕切状ヘッダテーブルに同データが存在するかを確認する 2025/12/3追加

参照テーブル	仕切状ヘッダテーブル		2025/12/3追加
抽出条件	仕切書番号	= ヘッダレコードList.仕切書番号	2025/12/3追加
ソート	-		2025/12/3追加

⇒データが取得できる場合、各テーブルをDELETEしする 2025/12/3追加
・仕切状ヘッダテーブルの登録日時を取得（明細、トレーラテーブルを削除するKEY） 2025/12/3追加
変数.削除登録日時 ← 仕切状ヘッダテーブル.登録日時 2025/12/3追加

・下記に従って、データを削除する 2025/12/3追加

削除テーブル	仕切状ヘッダテーブル		2025/12/3追加
削除条件	仕切書番号	= ヘッダレコードList.仕切書番号	2025/12/3追加

削除テーブル	仕切状明細テーブル		2025/12/3追加
削除条件	登録日時	= 変数.削除登録日時	2025/12/3追加

削除テーブル	仕切状トレーラテーブル		2025/12/3追加
削除条件	登録日時	= 変数.削除登録日時	2025/12/3追加

仕切状データテーブル類をINSERTする 2025/12/3追加

・仕切状ヘッダテーブル

参照テーブル	仕切状ヘッダテーブル	
追加項目		
	レコード種別	← ヘッダレコードList.レコード種別
	メッセージ取扱種別	← ヘッダレコードList.メッセージ取扱種別
	販売日	← 変数.販売日
	取込日	← 変数.取込日

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

	仕切書番号	←	ヘッダレコードList.仕切書番号	
	元販売日	←	ヘッダレコードList.元販売日	
	元仕切書番号	←	ヘッダレコードList.元仕切書番号	
	送状番号	←	ヘッダレコードList.送状番号	
	商品区分	←	ヘッダレコードList.商品区分	
	代表品目名	←	ヘッダレコードList.代表品目名	
	出荷日	←	ヘッダレコードList.出荷日	
	卸売会社コード1	←	変数.卸売会社コード1	
	卸売会社コード2	←	ヘッダレコードList.卸売会社コード2	
	卸売会社名	←	ヘッダレコードList.卸売会社名	
	県連コード	←	ヘッダレコードList.県連コード	
	農協コード	←	ヘッダレコードList.農協コード	
	出荷者コード	←	変数.出荷者コード	
	出荷者名	←	ヘッダレコードList.出荷者名	
	仕切情報備考	←	ヘッダレコードList.仕切情報備考	
	予備	←	ヘッダレコードList.予備	
	登録日時	←	変数.登録日時	2025/12/3追加
	登録担当者	←	SYSTEM	
	更新日時	←	システム日付	
	更新担当者	←	SYSTEM	

・仕切状明細テーブル

参照テーブル	仕切状明細テーブル		
追加項目			
	レコード種別	←	明細レコードList.レコード種別
	販売日	←	変数.販売日
	取込日	←	変数.取込日
	卸売会社コード1	←	変数.卸売会社コード1
	出荷者コード	←	変数.出荷者コード
	明細レコード番号	←	明細レコードList.明細レコード番号
	荷印	←	明細レコードList.荷印
	形態コード	←	明細レコードList.形態コード
	形態名	←	明細レコードList.形態名
	品目コード	←	明細レコードList.品目コード
	品目名	←	明細レコードList.品目名
	品種コード	←	明細レコードList.品種コード
	商品名	←	明細レコードList.商品名
	等級コード	←	明細レコードList.等級コード
	等級名	←	明細レコードList.等級名
	階級コード	←	明細レコードList.階級コード
	階級名	←	明細レコードList.階級名
	原産地コード	←	明細レコードList.原産地コード
	原産地名	←	明細レコードList.原産地名
	鉢サイズ	←	明細レコードList.鉢サイズ
	輪数	←	明細レコードList.輪数
	立本数	←	明細レコードList.立本数
	入数	←	明細レコードList.入数
	口数	←	明細レコードList.口数
	数量	←	明細レコードList.数量
	鉢種備考	←	明細レコードList.鉢種備考
	仕立備考	←	明細レコードList.仕立備考
	荷姿備考	←	明細レコードList.荷姿備考
	商品備考	←	明細レコードList.商品備考
	取引区分	←	明細レコードList.取引区分
	仕切金額	←	明細レコードList.仕切金額
	仕切単価	←	明細レコードList.仕切単価
	仕切単価単位	←	明細レコードList.仕切単価単位
	注文単価	←	明細レコードList.注文単価
	注文単価単位	←	明細レコードList.注文単価単位
	注文備考	←	明細レコードList.注文備考
	集荷運賃点数	←	明細レコードList.集荷運賃点数
	集荷運賃	←	明細レコードList.集荷運賃
	卸売会社品目コード	←	明細レコードList.卸売会社品目コード
	卸売会社品種コード	←	明細レコードList.卸売会社品種コード
	卸売会社等級コード	←	明細レコードList.卸売会社等級コード
	卸売会社階級コード	←	明細レコードList.卸売会社階級コード
	卸売会社原産地コード	←	明細レコードList.卸売会社原産地コード
	出荷者品目コード	←	明細レコードList.出荷者品目コード
	出荷者品種コード	←	明細レコードList.出荷者品種コード
	出荷者等級コード	←	明細レコードList.出荷者等級コード
	出荷者階級コード	←	明細レコードList.出荷者階級コード
	出荷者原産地コード	←	明細レコードList.出荷者原産地コード
	予備	←	明細レコードList.予備
	明細識別番号	←	明細レコードList.明細識別番号
	出荷予定データ送信フラグ	←	明細レコードList.出荷予定データ送信フラグ
	小数点付買付単価	←	明細レコードList.小数点付買付単価
	小数点付注文単価	←	明細レコードList.小数点付注文単価
	販売希望単価	←	明細レコードList.販売希望単価
	原産地情報	←	明細レコードList.原産地情報

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

	商品注釈	← 明細レコードList.商品注釈	
	表示用コメント	← 明細レコードList.表示用コメント	
	単位備考	← 明細レコードList.単位備考	
	登録日時	← 変数.登録日時	2025/12/3追加
	登録担当者	← SYSTEM	
	更新日時	← システム日付	
	更新担当者	← SYSTEM	

・仕切状トレーラテーブル

参照テーブル	仕切状トレーラテーブル	
追加項目		
	レコード種別	← トレーラレコードList.レコード種別
	販売日	← 変数.販売日
	取込日	← 変数.取込日
	卸売会社コード1	← 変数.卸売会社コード1
	出荷者コード	← 変数.出荷者コード
	梱包集計	← トレーラレコードList.梱包集計
	口数計	← トレーラレコードList.口数計
	数量計	← トレーラレコードList.数量計
	集荷運賃点数計	← トレーラレコードList.集荷運賃点数計
	集荷運賃計	← トレーラレコードList.集荷運賃計
	委託分金額計	← トレーラレコードList.委託分金額計
	買付分金額計	← トレーラレコードList.買付分金額計
	仕切金額計	← トレーラレコードList.仕切金額計
	消費税額	← トレーラレコードList.消費税額
	委託手数料	← トレーラレコードList.委託手数料
	集配手数料	← トレーラレコードList.集配手数料
	通信費	← トレーラレコードList.通信費
	控除集荷運賃計	← トレーラレコードList.控除集荷運賃計
	その他控除	← トレーラレコードList.その他控除
	差引仕切計	← トレーラレコードList.差引仕切計
	予備	← トレーラレコードList.予備
	登録日時	← 変数.登録日時
	登録担当者	← SYSTEM
	更新日時	← システム日付
	更新担当者	← SYSTEM

2025/12/3追加

④終了処理

・格納が正常に終了した場合は、メッセージを表示する　「仕切状データを取り込みました。」

■ 明細ダブルクリック時

ダブルクリックされた情報をパラメータとして、仕切状詳細画面　に遷移する

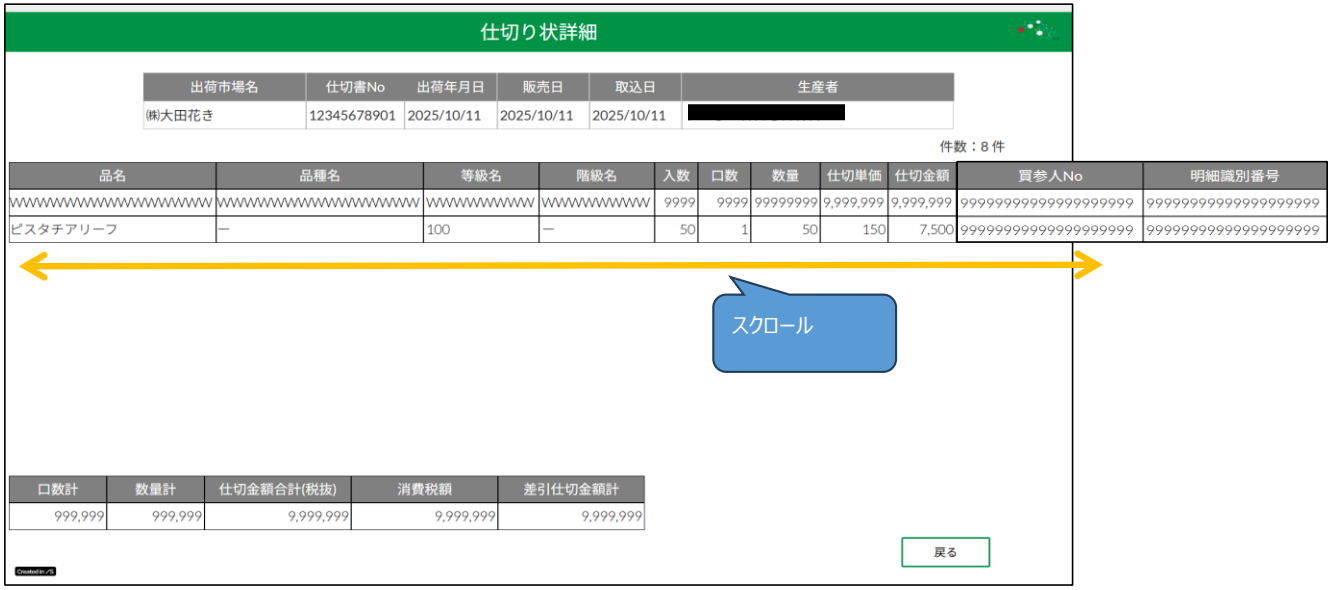
■ 戻るボタン押下時

メインメニュー画面へ遷移する

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2025/9/16	[redacted]		新規作成
2025/9/25	[redacted]	機能概要、詳細設計	フッタに消費税額、差引仕切金額計を表示
2025/10/20	[redacted]	詳細設計	誤字を修正　買参人No⇒注文備考
2026/1/8	[redacted]	詳細設計	33行目。メッセージ取扱種別の条件を削除

画面仕様	画面名	送り状詳細
	機能	
	画面ID	



内容（概要、ボタンイベント、その他）

項目	桁数	TYPE	初期値	表示／入力内容
■送り状詳細				
ヘッダ				
出荷市場		ラベル	パラメータ.卸売会社名	
仕切書No		ラベル	パラメータ.仕切書No	
出荷年月日		ラベル	パラメータ.出荷年月日	
販売日		ラベル	パラメータ.販売日	
取込日		ラベル	パラメータ.取込日	
生産者		ラベル	パラメータ.生産者名	
明細				
品名		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
品種名		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
等階名		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
階級名		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値

画面仕様	画面名	送り状詳細
	機能	
	画面ID	

入数		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
口数		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
数量		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
仕切単価		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
仕切金額		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
買参人No		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
明細識別番号		グリッド	空白	仕切状明細テーブルの検索値
フッタ				
口数計		ラベル	空白	仕切状トレーラテーブルの検索値
数量計		ラベル	空白	仕切状トレーラテーブルの検索値
仕切金額計（税抜）		ラベル	空白	仕切状トレーラテーブルの検索値
消費税額		ラベル	空白	仕切状トレーラテーブルの検索値
差引仕切金額計		ラベル	空白	仕切状トレーラテーブルの検索値
戻る		ボタン		仕切状一覧画面に遷移する

主な機能

- 仕切状一覧で選択されたデータの仕切状詳細データを表示する

基本動作

●画面処理表示時

選択された仕切状情報から、仕切状明細テーブル、仕切状トレーラテーブルを参照し、一致する値を画面に表示する

●戻るボタン押下時

仕切状一覧画面へ遷移する

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. パラメータの取得

前画面からのパラメータを取得する

パラメータ.卸売会社コード1
パラメータ.卸売会社名
パラメータ.販売日
パラメータ.仕切書番号
パラメータ.取込日
パラメータ.出荷者コード
パラメータ.出荷者名

2. 仕切状テーブルの参照

①仕切状明細、トレーラデータの取得

以下のSQLを実行し、選択された行の詳細情報を取得する

参照テーブル	仕切状ヘッダテーブル		A
	仕切状明細テーブル		B
	仕切状トレーラテーブル		C
結合条件	A.販売日	=	B.販売日
	A.取込日	=	B.取込日
	A.卸売会社コード1	=	B.卸売会社コード1
	A.出荷者コード	=	B.出荷者コード
	A.販売日	=	C.販売日
	A.取込日	=	C.取込日
	A.卸売会社コード1	=	C.卸売会社コード1
	A.出荷者コード	=	C.出荷者コード
抽出条件	~~A.メッセージ取扱種別~~	~~=~~	~~0~~ 2026/1/8削除
	A.取込日	=	パラメータ.取込日
	A.販売日	=	パラメータ.販売日
	A.卸売会社コード1	=	パラメータ.卸売会社コード1
	A.出荷者コード	=	パラメータ.出荷者コード
ソート	A.卸売会社コード1(昇順)、A.販売日(昇順)、A.取込日(昇順)、A.出荷者コード(昇順)、B.卸売会社品目コード(昇順)、B.卸売会社品種コード(昇順)、B.卸売会社等級コード		

⇒データが存在しない場合、メッセージを表示し前画面に戻る　「詳細データが存在しません。取り込んだ仕切状データを確認してください」

⇒データが存在する場合、以下の転送内容に従い、画面に表示する(複数件の可能性あり)

■画面.ヘッダ(１レコード目のみ表示)

出荷市場　← A.卸売会社名
仕切書No　← A.仕切書No
出荷年月日　← A.出荷日（yyyy/MM/dd)
販売日　← A.販売日（yyyy/MM/dd)
取込日　← A.取込日（yyyy/MM/dd)
生産者　← A.出荷者名

■画面.明細(取得数分表示)

品名　← B.品目名
品種名　← B.商品名
等階名　← B.等究明
階級名　← B.階級名
入数　← B.入数
口数　← B.口数
数量　← B.数量
仕切単価　← B.仕切単価
仕切金額　← B.仕切金額
買参人No　← B.注文備考
明細識別番号　← B.明細識別番号

■画面.フッタ(１レコード目のみ表示)

口数計　← C.口数計
数量計　← C.数量計
仕切金額計　← C.仕切金額計
消費税額　← C.消費税額
差引仕切金額計　← C.差引仕切計

■ 戻るボタン押下時

仕切状一覧画面へ遷移する

画面仕様

改版日	改版者	シート	内容
2023/9/22	[redacted]	詳細設計	新規作成
2024/9/17	[redacted]	詳細設計	QR読取の際の読取モードをオルタネートに変更
2024/9/17	[redacted]	詳細設計	QR読取時、モード=1の場合はエラーメッセージを出力する
2024/10/9	[redacted]	詳細設計	QR読取モードの保持を追加。Kitting.jsonの追加
2024/10/31	[redacted]	詳細設計	画面表示処理修正。QR読取時半角スペーストリム処理追加。連続読みONOFF切替時にQR読取モードの保持追加。 kitting.jsonの不正エラー追加、商品未入力エラーの追加
2025/9/11	[redacted]	機能概要、詳細設計	現在読取数、予定読取数の表示。予定読取数の入力を追加
2025/9/25	[redacted]	機能概要、詳細設計	生産者の位置を下に移動。画面項目はスクロールさせる
2025/10/17	[redacted]	詳細設計	L36 QRコード読取部分でセミコロンをリプレースする仕様を追加

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

■ 画面表示

1. 初期表示

出荷市場、~~送り状NO、~~輸送会社、~~輸送手段~~　　：　　前回入力内容（プリファレンス値）を表示

出荷年月日：システム日付を表示

梱包数、送り状NO、口数：　空白

2. 読取モード

QR読取モード（オートオフ）で画面起動する(トリガを引いたらQRコードが読める状態)　2024/10/31追加

3. 遷移元の取得

前画面のQR読み取り内容を取得する

■ QRスキャン時

スキャンされたQRコードの識別子によって、出荷市場、輸送会社、~~輸送手段~~を表示する　2024/9/30

QR仕様については、ラベルフォーマットとQRコード体系.バーコードブック　を参照　2024/9/30

1. QRコードチェック

①値の切り出し　2024/9/30

スキャンした内容をカンマでSplitする　2024/9/30

<QRコード>　文字コード：SF-JIS、区切り文字：,（カンマ）

識別子	コード	値
01	0138530	大田花き
02	XXXXXX	佐川急便
03	XXXXXX	トラック

↑今回追加(2024/9/30)

②内容チェック

下記条件に該当する場合、メッセージ「想定QRコードと異なるQRコードです」を表示する　2024/10/31追加

・Splitした要素(0)が01,02,~~03~~でない　2024/9/30

・ Splitした要素が3要素以外　2024/9/30

2. 画面表示

識別子が01　　⇒ 画面.出荷市場

識別子が02　　⇒ 画面.輸送会社

~~識別子が03　　⇒ 画面.輸送手段~~　2024/10/18削除

※既に画面表示されているものは、上書きする

※Splitした要素(1)(コード)は、内部的に保存しておく　2024/9/30

■ 確定ボタン押下時

1. 項目チェック

~~① 送り状NO以外未入力項目がある場合、次のメッセージを表示する~~

① 出荷市場、または出荷年月日が未入力の場合、次のメッセージを表示する　2024/12/6変更

「未入力項目があります」

② 全ての入力項目をプリファレンスに保存する　2024/12/9追記

② 未入力項目がない場合、確認メッセージを表示する

メッセージ「出荷情報を確定します。よろしいですか？」を表示する

⇒はいの場合：送り状ファイルを作成する

⇒キャンセルの場合：ダイアログを閉じる

ファイル名：送り状_出荷先市場_yyyymmddhhmmss.csv

↑画面.出荷市場

CSVファイル内容は、「【ファイル仕様書】送り状CSV.xlsx」を参照　2024/9/30

以下の転送内容に従って、CSVファイルを出力する（出力は、内部共有ストレージ¥Download¥ShippingLabelHT　）　2024/9/30

※出力はパラメータ.内部リスト分行う　2024/9/30

ラベルNo	← パラメータ.内部リスト.ラベルNo	2024/9/30
生産者	← パラメータ.内部リスト.生産者	2024/9/30
品名	← パラメータ.内部リスト.品名	2024/9/30
品種名	← パラメータ.内部リスト.品種名	2024/9/30
等階級	← パラメータ.内部リスト.等階級	2024/9/30
入数	← パラメータ.内部リスト.入数	2024/9/30
箱数	← パラメータ.内部リスト.箱数	2024/9/30
総本数	← パラメータ.内部リスト.入数　×　パラメータ.内部リスト.箱数	2024/9/30
単価	← 空文字	2024/9/30
金額	← 空文字	2024/9/30
販売先	← 空文字	2024/9/30
注文区分	← パラメータ.内部リスト.注文区分	2024/9/30
備考	← パラメータ.内部リスト.備考	2024/9/30
出荷市場コード	← QRスキャン時、保持したコード	2024/9/30
出荷市場	← 画面.出荷市場	2024/9/30
送り状No	← 画面.送り状No	2024/9/30
出荷年月日	← 画面.出荷年月日	2024/9/30
口数	← 画面.口数	2024/9/30
輸送会社	← 画面.輸送会社	2024/9/30
梱包数	← 画面.梱包数	2024/9/30
発行日付	← システム日付（yyyyMMddHHmmss)	2024/9/30

ラベルNO	生産者	品名	品種名	等階級	入数	箱数	総本数	単価	金額	注文区分	備考	出荷市場	送り状NO	出荷年月日	口数	輸送会社	輸送手段	発行日付
xxx	大田花き	ｶｰﾈｰｼｮﾝ	ｵﾍﾟﾗ	S	#	1	#											
xxx	大田花き	ｶｰﾈｰｼｮﾝ	ｵﾍﾟﾗ	A	#	1	#											
xxx	大田花き	ｶｰﾈｰｼｮﾝ	ｵﾍﾟﾗ	B	#	1	#											

詳細設計	画面名	
	機能	
	画面ID	

仕様

QR　入数*箱数　空白　QR　入力内容　システム日時

③ 送り状作成に成功した場合、遷移元画面に戻る
送り状作成に失敗した場合、メッセージ「送り状CSVファイル出力に失敗しました。」を表示する　2024/10/31追加

■ BACKボタン押下時
遷移元画面に遷移する
※読み取った内容はクリアしない